ですか」と質問されると「う 例に包留されて 一具合はどう で」と歌歌を選す、新聞記者 付けると「おし大したものち の隅に白く咲いてゐる梅を見

このな能みだが規則に手を

百歩程の内路を歩き組る、路中折にステッキを振り人へ二 頭にぐる(〜程言つけて茶の たから散步する。といび出し 眠り切らず夜が明けるで午前

八時側錠を済まして後一憂鬱

- コングにマフラーを太い

鬱だから散歩する

腹もすかないし飯も酒もまづい

モーニング姿で二百坪の庭内を歩きまはる宇垣さん

装置に贈ぐ宇虹大将は心から、んだ製の子のやうに二棚に関一まくたく頭も直い、これでは、になつてゐる『しかし典欄に、ハマハアハー・』と大将の組。面倒だかに組棚とでもつけて(東京都正』健進蘭三日半、一つけてからは甲鸛に首を突込。かないし破るまづい、潰もら、た前敷り将軍にも貫すセンチ。雌い『もにまた伊が出来たで、恵つて徳笑する『碑の名傳に

候補以外に新たに推薦する意志有り や無

状があつた (風俗分) 對し二十人日散粉質章下腸の倒沙 **粉鮓(原養常山滌)寺井政大郎**

ため多額の基礎を背配した諸氏に 【東京電話】畏き盛りでは公共の

紺綬褒章下賜者・

夜を徹する組閣本部

を見しても何ら變化なきここをあらかじめ ことであるが時間かくの如き以上は特殊手段は、法制的 は可能には面するに至ったものと見られる。 なき情勢には面するに至ったものと見られる。 との意味を述べたものと信ぜられる。事態所の如くである以上宇宙。なき情勢には面するに至ったものと見られる。 なき情勢には面するに至ったものと見られる。 育見しても何ら變化なきここをあらかじめ る、從つてこの問題に励する限り今後幾度 は全で不可能はなり意味を明住し正式に最後的態度を表明してる 大統としては興歌なるま態をもって後に謂る態勢で

生會議開催 極東農村衛

紅梅白梅

£

道から建つてこと

果たのであら 繪

世

う、右手には学次と

同じやうに益

140.20

に破いて討論を行ふこととなり続 備、保險及び国家共同参加その他 間村祭治問題、間村倫生及び出版 置事務總長より外務省を通じ本府 で極東陸村衛生育派を開催し居の から十三日までジャパのパンド 國際聯盟保健部では来る八月二 、三俣地に関する別 八月ジヤパで 『と仰しやいますが、何んだか無 でとこでもない。同じ国際の内ち ことは何處でしざんすので。… 一一切を提げてるた。

とは絶野の許す限り出席すること 、参加出版方を求めて家た、本府 新年度から 間に置め贈で、いやに漢言味が思 うござんすぜつ 「実味の悪いとは似しもない語。」「あもらの用意は出来て貼り

でいうおいでなされ

何んちでい

うに、丁吹に頭を下げた。 でおむら殿、瀬古客に存するこ

朱式は何でら助太刀でも得たや

全府の治水治山制張による中小河 の男のくせに弱いことをいかもの まりいる心様アいたしでせんと、「つべる」かしこまりました。 ツ幅だもんでげすから、つひあん一今度はわらはに陥 揺りやすが、どこまで行つても異 きしやしたんで、壁に削いもやア 間はず鹿に倒いて進んで行きでことるこ 「へえっそれやア初手にごうお関

測量を開始

るので、新年度と共に測引設計を 行ひ腹部の通過を持つて下降にか 間年度が誘敗修工事は急を要す 一般修正ヶ年前最上十五百萬四部 もや。もそつと行けば、やがてむしその定取りは猫の様に連かつた。

ることしなった

京梁道座菜技師に併す(古聖符四朝鮮産業技師に任す(七聖符四 **咸霖北道重菜技師に届す** (日本社画工作す(七字件画) 本府辭令 (計七月年) (七野待遇) 平田 竹次 平田 竹次

かびつてるやう型に、世むすに一つもしお難様。どうかお得ち つておくんなせえでしい

の通うに来たがよ (....)

るだしいが、見られませない は、既はずありと明んだまし、 らにも危なくて歩けれえい 一そいつア何度に おおりのその言葉が終ったか終 「風で配の脚でございます。」

▲不具の子はどうして出來るか
▲病氣の人が姙娠した時の手段

▲姙娠中の夫婦生活はどうする 出ないお乳をキット出す秘法 ▲早産兒を丈夫に育てる新砂訣

の場に顔を伏せて

全限利な赤ちやん着物

金駕田來ない、それで耽ち至。してくれ僕も駐目だしと陳撰、重要もごと決続は依然として確つてしまつて振角の謝動も。壹百の僕も夢落が详ばない類。到する言は優へないぞ、僕も 成した二女子子さんのことを際よりも一足光に男の子を分 一般も多いからたあ、 からなる。石は……。関から野に下り立ち巨動作者……これは冗談だと、野氏等の止めるのと聞かす縁

寺内陸相に申込む

今井田氏、ける陸相訪問

を訪問、字垣大將ミ陸軍三長官との會見方を申込んで種々協議した 【東京電話】今井田清徳氏は二十八日午前十時三十五分組閣本部を出で陸相官邸に寺内陸相 寺内陸相語る と陸軍三長官との命紀について下交渉を行つた今井田福富氏は同十一時十分官職を解し、年兵市語】二十八川午前十時五十分陸租貸職を追聞し寄内陸租と衞児して平紀大将(東京市語)二十八川午前十時五十分陸租貸職を追聞し

| 會見の、こについては今并用氏から聞いて貰ひたい、我輩からは何事も話しするとはない前三十分開緊を部に認った、今尹出死と願慰後等内陸相は左の如く觀る

今井田氏語る

東京電話】今井田前徳氏を等内陸相との曾見は二十八日午期十時五十分から行

曲に會見を拒絶

学垣大將が陸軍代表こお會ひして懇談したい。

2個児の無効を就いて婉曲に 曾紀を拒続した 陸軍部内の情勢は何等變化してゐないので折角お會ひしても効果は期待されない一

ようと (土水日三長飯煙跡の結果を囲巻せる以外に今日すで鑑つてあないので、たと〈飲まするも郷暖炉番に組ほれないとなす。同途べ【来源電話】今井田通鑑氏は二十八日平前十時五十分強相影臘で等内理相と部は、空月大将と三長能との際肥を申込んだかが内陸相は 性軍の態度は依然として帰機なるものある故障談するも効果なき質情を説明した

断念のほかなき情勢

然日を厳してゐるが思らく今井田氏は宇垣大将の思を隨し劉陸軍闘 (東京治語)今井田氏の寺内陸相訪問の順末に脚しては陸相では金)まづ字垣寺内第二次會見を守内陸相に要 併せて陸軍三長官會議において推薦した を行ぶしたものと見られる之に對して苦内酷相は 絶するものではない) 宇垣大將より會見の申出あれば決して拒

らゆる方途を講じ既に二十六日は三長官會 も既に承知の筈である如く陸軍としてはあ一つ但し陸相候補者問題については宇垣大將

【東京電話】台田軍有部次長は二 組閣經過を言上

衆議院、今明中に各派交渉向

し微談を渡し、「子八十年前九時代」なつた 【恵京忠語】尾輪行雄氏の中国に | 理として田川大晋郡氏かる田祿長 | 宇垣大将の錦鴒工作及ひその後の | ギー政府は二十 伏見總長宮へ たが永野後相は午後一時半伏見軍「イタリー政府に戦軍派器を競して 丁部總長宮殿下に賜説、宇宙大将 がイタリ

の組織工作の評価能に時間に関す 海軍の肥解を当上軍上げた

政府は開放送局の唐

【プラッセル二十七月間盟】 白國內閣危機 放したのでベルギー歌析は取じては歌祈の腕気する所にあらずと 策決定の必要に迫られてある。

天地文章

十八二年別九時日本次日と前見、

大点腹をゆすぶつ

の中の急震便所等皆敷の問題各新開心の自動車の列、屠動 **軍の屋根にはひ上つて屋型の** 見れば……久し振りに世の中を眺め「原機の上から下昇を 順の警官隊、長蛇の陣を祈く 領も那その抱懐する味道他方 軍新に到する組閣方式を明示 を提示して頭しいとの個大型の 宇宙大将はこの際狂しく層

問ひつょなほ「御奉公が戦るか 働き手の兄が人党、母子凱と

という実践、この種情を思議 り」とてこれを知りせなかった 譲りにも馬鹿らしい。無知無疑! の試際は蘇緑の芝居とはいへ、 段革運動に日本が構成ありと

の徒の智慧としても下の下なる

たらな一人言をいびながに同 からい出したでうに現的本部 に入つて行つた、午前十時間 度な學校生徒代表が明治順気 に宇庭大将の風湿度が明治順気 に予庭大将の風湿度が明治順気

を見た」と意味でもしてのた

もの、近頃ナンセンスの好標本 一世上げのために 近上げの 野野

からず。からずと続はらいでく、一だづた。おせなく人の変かの他のをなしつくありと続はらいでく、角から聞えて来たのは表むらの驚からせい。

前 は大野を将ばせた

地下の長駆下を歩かされるとたる と、妙に心に怯ち気か出て、半次 には慣れてゐたが、さてかうして らが行つてるるだ。 の足は思ふ半分も進まりかつた。 10/40 こなぜ連ら歩かれおかっ 「くえつ」 はべていのちい 一もはや四五間も行けば何にはむ はございませぬぞえ。 へえる 近して来る過度が、じめ 华大。 心臓の光の差す足許だけはどうやしどうも思ふからに歩けませ 一个王品 「臨に間を重ねて、あたりの壁を 一次は前へ前へと進んで行った。一「それやア承里し が、やがて限の前ににのかな光一らない母分、ふと記を上げた学式 難の聲は能かつた。 通へるやうに感じられた。 はつきり見るるものと、二尺光 背景から押されるやうにして、 強う歩きいる

> △無痛安産の新製 船兒の男女別速知志 ▲姙娠する日世ぬ日早見

れはほんの

直建

養置

部です

|関画の暗さを探りなかり歩くこと | さっと、折角お燈標が見せて下さ 異後中に人の家へ忍び込んで、一「ほくく、豊國豊國しておるでは 「と云つて、この道ばかりでアレ 方が女上り遊いな のまし近端の後に振いた。 もやアいけわえら 「何をしてるでるのおでっか 「むら、手を把つ 「え」何を冗談師しやいます、 「そんなにおむらさん、引っ殴つ てやりや んぞといふこ

一つそれは大震であつ 「おし、皆も施つて 14.00 近畿は光に立つ いて来や当 歩き始めた。 し語りですが た。一年次、

171) 邦枝 保

完

13

作

草門大寶剛大寶 ●看護婦や五 もこれ以上の 約二百種、ど 約二百種、ど ij せん。 ▲専門の博 も産婆より

度職山砂嶺山面生れ住所不

平町署員に捕はる

のである

排曉の三坂で

額蔵末整点の廿七二次九時ごろ第 | に圧所不定の支那人干典徹(a)

個地水(での一人を取調べると、

鉄田の謎びとなり、風波中であったが、風

製造山行臨時貨物列山が天安脈を 廿七二年後十一時四十分ごろ旭山

全般天氣豫報

切は年後十一時に個人が削揚げた 小破死場番は「かつた、なほ同路

後で自動車の運標手の不律意に因

鐵道局に

部成北 北東の風 俊には古成権北 北西乃宝 始めは遠 部丁原 北東の風 いずぶよ 減陥陥 北南乃玉 吹血に張

所得してきるので解類取締選反で 夫々モルヒキ、河片衛丁二国はを 學校の校長

取りに来た」と云ふので、覚汗番一つて彼人し、居光にあつた一田州

半島の支欄

一日の開場式を控へて

大邱飛行場の盛觀

間並水部在方へ何者が鍵を使ける原地上程十里

の楽典派少年が云はれるましに服

た、加山素で犯人物直中を渡したが、躍されたこと、

他を探された、原大門器で配入理

門片を持つた 怪支那人二人

)が外出から続つてみると、抽

器の銀行と親んで目下級人類正中職くなって東大門署へ届出内部の 並自十四か何齢かに踏まれてるた

既ひで来たが、新潟の洋根と眺を

人男が訪れ「一場にゐる主人の

の







師長航住技能要を組した。その一

加一選手の連数出数と云・起期が

方面と挑削の上、州二日中に要表 なほ我が代表選手については関係 の見込みであるが影響の上限する

和を含んで開鮮を横断して日本はた六十四年の低粱階が、多分に温 ◆……これは資福の真中に設

へ扱けるためかくは雪となつたも一してある

鯱鉾犯人

して前は

と見るのが整備で山岸、中野南道ら歴生誕手中から翌田されるもの

上勝田智長は本年度で盃戦参加

を翻収して大きな反響を興へた場を決定、シングルス用場の手類

一られてゐる「父アメリカ・ゾーン出

正事の隣に郷と百二十尺の天守閣

新観名市居城の修理 なった

賣りに來たのが運の悲き

権上に祭ち替つて北側雄の泣賊

酷寒の驛慰問

温情の興运局

歴生を強調した協質が維米の当 ・ ロッパ・ゾーンを指でた理由 ・ は破裂されないが、結局がおれて ・ に要する日数の短縮等が主因と ・ に要する日数の短縮を ・ に要する日数の ・ に要する日数の短縮を ・ に要する日数の短縮を ・ に要する日数の配置を ・ に要する日数の配置を ・ に要する日数の配置を ・ に要する日数の配置を ・ に要する日本の配置を ・ に要する ・ に

七日本府に於て開催されたが、 戦の通り監評師競学区長行品は の結果によると人學試験は本所

師範入學試驗

雑貨屋に城 上徃十里の 空無電局心竣成

都雄木繁茂が岐車を極めてわる折 | 田の申に入れてあつた、切符段上 | 塚ガラスで場主宅へ甘蔵底の朝鮮

中等學校同樣

<u>◎韓校と同様に行ふと共に深(となり、廿巻 這生生過ぎからチラーなほたん当となり、 鍛に擬嬲し、男子の入試は他(今……前夜からの異常が読れて事)(~と降り始めた</u>。 ◇……前夜からの母屋が離れて男

夜まて降りつべく

費甲のところ、 書る二十三日午後

らころから足かつき、二十七日夜

| 那長が感問品を携へて同級の歌

会ひ一切の犯行を目供した

陇關車自動車 正而衝突 死傷者はない

就新世町三二六門師南軍多四

本年度のデ盃戦は

定式が飲むを行ったよ、各世知事か の内容を大々的に吹ぎすること し、女子の人或欲戯は各道に於て これと同時に節節後投放等方針 これと同時に節節ととれなつた て決定することと、の概載せしめ、題に櫻枝は同に於

郷中の特色であかつ 行記念スタンプを新 た、スタンプは

延球協會から發表

はや一寸の積雪をみた

ンに出場

風味をかな ジャム

の通り敗正致しまたか

● 州川頭世界 蓼茸トニク N. A. S. S. S.

在庫豐富·型録贈呈

邦唯一ローラーベアリング附 京城府英金町一ノニーハ 京泉·森電機商會 電話本周 宝玉里八〇 富士電機製造株式会社

故障が起ラヌ最も科學的なモール

東京城府旭町二丁目八番州 東城府旭町二丁目八番州

TE やさもの 依息がみ 四づな (* Ŋ,

野仙市 電京 日 竜城 月 元高**月月** 元時**月月** 三町**不**礼

+

唯明

付品景義抽(券/音楽街等一) 消給点萬四 ***防寒航空內靴**

假特

美十五円二

林伊佐緒唄

要 地厚毛皮付表 上ボックス 単

特價円

山田祭一曲 カタログ進星)上大店上東京大阪・岡山高田市 全資會社十十十十二八〇〇首 27、本店。香川縣善通寺町 金

上六^电 龍三本 藏番 B

超唱するわれ等の日本人必聴のサイ 東 海 林 太

郎

子 種 M

打策した、和天氏は融る

湖しく停垣状態を取けてゐるが、 大新の出産工作は依然降前の蝦み の自宅で玉のやらな男の子を分成 は、二十七日午後上降半前周日

二女秀子さんが分娩

の吉根を知つた夫君和夫氏は刑さ やらにして家に融り、略のまと歴

大将の二女 新海線道局工統部改良 | 物にかけ上つて赤ん切を見るや否 「新潟電話」組織工作第三日字垣 早めたものらしい、寝館の巌でこ

この寒さにすつかり收縮して

鐵道係員は大恐慌

か比を何く

宇垣大將の許へ

占報

平町の密格に頭歌り、通行人を輔 外一名は北八十年町一壁え公

いづれも豚箱入り

及を受けて懸なく迷離された 致上朝から本町湾に種基された サルビーの値優から越大帯の所在を 地直してわたものであるが、値 関重しておたものであるが、値 の関連が関連の関長塔で、外十 のであるが、値

本町署多田穂革部長、劉淞事の追し、年後七時半镇京城荒柴町の路上で、日本の路上では、日本の路上では、日本の路上で、日本の路上で、日本の路が、日本の路が、日本の路が、日本の路が、日本の路が、日本の路が、日本の 廿八八十間五壁ころ京城三坂通天「城西大門著食が四小門町を寄行中」 洋服を騙らる

飲ませろと暴行

◆京城自首町一八六無職具務員で1~ては片端から繁行曲を飲ませと

型要の根釧路署へ卵用

都追京城の基礎を励めた大

新設に決定 京・地方 (今晩) 祭・地方 (今晩) 祭・出版のは近には、職員のは中級はこの際直定化 仁川・地方 (今晩) 北版のは近には、職員のは一般はこの際直定化 仁川・地方 (今晩) 北版のは、1000年 (1000年) が表 いいば、こと時れて来った。 では、1000年 (1000年) に対していました。 地方 (今晩) 祭・出版に、1000年 (1000年) (100

近衞八郎唄

するためで作、で符、避事の三部であるか、超過艦線の事務を強化

慰靈追悼會 物故功勞者

が無力し来自正常し

C計七二夜九時、宮町殿町一四〇

正三年以来が認に監察した

十二名の慰迦山柳台は廿九府師院の物故公職者二百七

動車で十七、八分の近距離にあり

彰德幼稚園 時から側立二十周年記念式を懸行、君が代 の配念込

に怪飛行機 蘇聯上空へ引返す 船山の影響が雅

一十八日別総督所著電によれば、一職擅献に何け飛び去つたが、既 咸北

をの鑑点質数と自実践層の警点 を表示する信養低が散散のため塩 ・レールの課題値所の称「イン 養症線の放射が弱く、京城響等は 日本大大・印入・中本心は、レールの課題値所の称「イン 養症線の放射が弱く、京城響等は 日本大大・印入・中本心はおよって収ります。

まさ父のや坊間 **歌行涼 罗- 尼** · **房** · **R** · **B** · **R** · **B** ·

の疑ひあり更に詳細調査中である

焼却した、此郷最近前三萬国と開

つひにお繩

つひに悪運の盡き

|組に抗しがたく大会闘の末常に六|が對立してある前記三段の成行き 筋内を開館し名家は門に母妻を切 町先で縛についた、右は東雲町一 り取ってみたものである。、前屋関の製杯に賦せず、これに對し合同。するといえが現の製色が来類した。例の各種簡単名家屋門に侵袭を切っても分離部費を主張して合同は營一として七十萬即乃至自萬国を出動。 月大師地が所を出所後相も纏らず一ことが映音の方派であるとあくま 益期料一四點過過(三)で昨年十一 三三大龍クリーニング李白臨方第一當局と學文兄有志は三校が派金に は期級賠拠たるものがあるが時中 一部関するには三枚を分離細管する一時間は表面化しその地がは注目さ

れてゐるが去る廿四月三段の資金

過去三ヶ月間に回る質狂委員路氏限り出資の意思なきを説明した、

の果酔西走の甲斐あつて満く一週

とこの紛糾が、国路に解決しない

総か、製工が化するに至り途にこの 製品は「私の出る器でなかつた」 と合同社会を主張してゐるので南一出政が意を要認したがこれに對し

せさることを言明、思想に母する

開項の如く南韓の野立族に注意としったので問題の高安學年短節の

半脚を正は正式に認可となりせか 申請中であった後出請女权の四種

【金山】金山村から題門所へ語可

山道學辨識を通じて耐へ通道があ

期を目的に述べたまと去就に迷つ

てるる三次の運用を一層が関内に

「印度から質視されるととなった

婦人に戯れた

と意思を披露第三者の介在を歓迎

中を分減する場合は出資者が出 と恋思を披露密三者の代在を敷理が一切にして水油に関するので と恋思をおつて用者が設立するといよ りこの分離は真命の不動の憶念ことに過去三ヶ月間に亘る工作である。 とに過去三ヶ月間に亘る工作である。

一般は多大の脳心をもつて注目

長老高氏調

氏を訪ね
「一年の別では、東中省局者と単文記行志は同の時光を記出してゐたよの問題も

類目的立雄にあって経際するこ | に地形するか新原細の切迫と共に 學校として内外を充實するには | 前途すこぶる融値せられ今後刻间 供中を今の時代に適合する中華 | 第、の支えらずの駅間と

の際人間部長は「言言三尺の際に器」部質の質打安は代表金里元氏は 父弟価和は説回石につまづいて 会商総務をすべきものであり場 類自身に 思察中は不即不纏の原則の下に 程校と 要察中は不即不纏の原則の下に 程校と 装中を

一南洞を関盟して民家五十五戸を

係人配派者部長が忠霊町の自宅に

九時半戦本町二丁目梁禹枝百墳時一省生れ無戦の競雅政(だ)といひ図一に何者が思び込んだらしい物意が、ラスの彼片でしきりに陸談を切り からしい朝代事――二十七日年期 | 安東劉武にあげられた、男は山東 | 輝り虹隆して間もなく至家の職家 と果して種族が ューソクを點じが大田の朝代事 [大田] から強一羽を纏んで派走中の男が | 伏久航巡子部長が東雲町の自宅に | 神間を用診し| 職家に近番つてみる こう宏東陽大道部第四部英國銀行「米警院の開始を終つた大郎治院会」き上り近越領的中の発悟器を起し「電響州」廿七日午町十時四十分 【大郎】二十七日午町一時旅館中、したのでさてはとばかり那かに起

に分れて飛び込むと怪災は慌て、 を失ふに至った…朝鮮人院師副のに分れて飛び込むと怪災は慌て、 を失ふに至った…朝鮮人院師副の 東つてあるのと観点、足がは左右、既は南首の主張相容れず急に命観、に分れて派が込むと传説は慌て、と先よに至つた。 東京 の破析がしまりに登送を切り 【中書】崇舞「気の計響を建意間、テスの破析がしまりに登送を切り 【中書】崇舞「気の計響を建意間、

込んで左足に負的し左手中指を脱

百餘羽稼ぎ

七の混乱に派じて敬助三百石を掠 の確接部落の十九道派甲山洞及び その開動除六十原名は同後そ

付きの疊表泥

崇質よ何處へ行く

刚派の暗闘途に表面化

前途ます人

警官宅の隣空家で稼ぎ

製业民家九十年に放売金銭をしめ、に繋え移ったためである。 製地の投口器十九道郷上野男子と 関語の駅込みで戦時は忠光が診断数地の投口器十九道郷上野男子と 関語の駅込みで戦時は忠光が診断 段臨に消防和強の活動により更鉛「塩から出火し駈けつけた大田岩」 平壌の醫院

によれば順首金は成の一陸四十餘一

展異」廿七日巻山版からの御報一

して一萬頭を算するに及び十二年― なつた して一萬頭を算するに及び十二年― なつた

春ともなれば関馬門も認可される 務を設置して増産にあたる語で陽がを無試で融り受け、これも指導部

機構だしこの前場態と相まつて一

なつてゐるが十二年度には本形か

ら百三十頭價格五萬回の酸塩牝馬

|福温所と担照して場配することに | あたもので被害自二十分の名きに | はなかつた

及んでゐる

亭主殺し 未練の女に

は鎌倉第三二、戦刑中が諸国総四一の總局は路で武建立を行つた

贋札束で鴨を釣る

カサマ骰子

僅か二回で一萬餘圓稼いだ

中设一呼《同韓蘭技(这)午设 四時▲第二日(三十一日)▲清 四郎技(第)午町九時出数▲流 昭郎技(第)午町九時出数▲流 明郎技(第)午町十時▲女子同 時典技(第)正午▲騰疋

|長安の順程者「c)さんが何心なく | 方面と振動を重ねてゐる (学)万に三人連れの協勝人かあ。て調停に帰田し早急に圓河野決を

れ『主人はあるか』となったので(はかり新展期に間に含ふでうと各 ろ安東新民俗が高間間十十號に宝」になび長老品に窓氏は老幅を提げ

諸門の扉を削くや一名は門外で見

作業場に怪漢

れや脱炭カタルも勿論気症の一般とを云ひます。ですから野鱗カタ どの钻膜や漿膜に起った炭淀のこしは 云ふのは、関係が、過程技 災魔なるうですが、特にカタルと ● 第一日(三十日) 耐久南走(近) 「上午出現) 最份離廃走(返) 「上午出現) 最份離廃走(返) 野野管護題の能自は左の通り

十六日午後七時五分二 ならしむるものであると深く遺伝

金品を奪つて逃走

七人組の親分で用

【光州】廿六日午明十時廿分水浦

し朝鮮忠州自動中登場所ではこ

一月が別近したので、生りて、同時で れる金け本スキー選手銀大商の期

大僧は既否を符つて元山新聞出ス は申分がない例金鮮スキー選手価担の確当単は一沢市に遠し大野に

安東にも三人組

ナイフで家人を励しつけ

|元山一村の前貨に行の流動を献

人夫が發見

ものと見られてある

現行の全日本スキー選手版大船・場で駐行する豫定版に選片里

機關車脫線

を継続が展生事に必願工人自に破り引取さ進別を重ねて新潟で解除されているとになったの名が周本年間遺跡の数工、州郡大公院、さらきさせた待望のスキー大神は、を水合用、州一の南は通洋里で帰れていると、「大行るをしたったの名が周本年で帰る。」

を求る卅一卅一の兩日進井里で承本スキー選手版大簡を切り続し至日

らコリデール棚二千五百頭を購入 を加へて來た、緬筆は昨年蓬西か

金日成の

部洛を焼

長、於前原東、金寅茲(新人出去) 午後二時後山地方法。120元年年8世

自金海都金四仏輿。四里金地げいた

に煮湯を浴せかけて設度した脚ギリー昨発離縁になった元の学。

十年の懲役

一到する 役人被告事では 北六山

を天曜、柳次言後しはコート

用述され工資物がは歴役十年

総被害額が二萬圓

情報は多少誇張?

平里二十七十四十一時二十 造間焼く

昌淑方から起火、火統は延外にも はげしく疑く間に病院を半回し三一と企み昨年二月中旬的新聞眠を十

五分財府内夷金町五八柳京境院祭、興里金元賞(よ)でほか六名と共誌(年期)二十七日午郎十一期二十一調べを受けてゐる……石は帰納に

してイカサマ階がで一路けしよう

で孫氏の五千國を施き上げ同半十一べく行方を殿郷中である

の銀分が大周署に挙げられ自下取一見せかけ。原国東、元福澄館に歴事。き上げて七名で分配酒色に消費し 脚で歩き上げた七名の部状態開放。現をつけて一萬風の起来のやうに | 城に連れ世 - 例の手で六千圓を揺して乗り 一萬 | 干団をイカナマ階 | 圓相線は切り其層直に上側起 - 仅 | 一月頃中和部水山面影響が髪を示 一般氏に呼に持ちかけて府内巡覧里 てゐたのが凝れて揃ったものでな

家族館で結切を開始イカサマの手」は同語では来悲愴の大名を検察す」をする、福井里族館組住でも田島

行スキー列心を運動する唇でしか 十九月午後十一時京城龍外金剛直 一選手に残り一指一四五十起 も各様から往復二期引のサービス

山磯のスキー列略を運転する外二、突きつけ窓なの原干氏(B)を再直 日節一組版俊二十四を温春地走し 張り二名が歴内に使人しナイフを

し昭司から國際十四年六世、和立一年亦作並揚に一名の構成が使入場 平然所に急報して佐郷、 節田南君 内物色中を除、消費南區政が展見 【学了一十七十年期一時前子路出

ぎ出した、この騒滅は耐内西城里 と配み脱重に取割べてゐる

年

部が紅く鰡れ、海山間変かやつ しかしたく然

胃腸カタルに續いて 肋膜炎を併

製価を含めて るた似でした。 併配し、緊栗に従事することも出来す、ひたすら瞭難に努めまは十八般職より問題カタルを思ひ、二十三般にて助真是を したが、三年を経ても一回効果が認められませんのでいよ! 題題 濱田健 太雙

れでよい、悪趣さへなければ大丈夫であると中されました。 健願を俯復致しました。お飲者様にみて負きましたら、もうこ は効き目が大きいと懸ひ、いとく一郎けて最地する中に飛ど なは効き目が大きいと懸ひ、いとく もずつと飲けて居りますし、雌調な人をみる度手を合せて戻さへ寄しました。それからと云ふ 「健烈わかとも」を政治してみることにきめました。 そこへが人がやつてきて、愛難でも服んでみたらとすくめて 「語しました。それからと云ふものは、自分であまりの感しさに「蛇刺わかもと」の紙に南 時には主文 人工学の表示を表示した。 とない。 本語の音楽を描述されて、温の語であるとと は、 一般になってでも、 一般になってでは、 一般になって、 一般にない、 一般にない、

し「錠棚わかも



静脈性が脱減したが対二時

産馬の黄金時代

今年本府から牝馬百三十頭の配給で

威北獎勵陣を確立

が関本なく壁脈した、同人は適身が関本なく壁脈でなった。同人は適身を全て容別中を連行人が超起、健

『死(二)は二十五日午前十一時四

獨身の大工

あすの大會を待つ

温井里スキー

兀山からも特別列車運轉

準備整へて待機中

のサービスを申合せた 嬰兒死體

鰡力、郷元にあたり、原場は國立 きなり用診してゐる前掛へ包んで ひ人際懸着がなかつたので死腑者 自殺と失られる||振那審九ケ所を認起して鬼瓶と ブラミげ近づいて來るところをい ||一年期、腹戚はイナカの鰐鷹で奉 死ぬといつてゐた||佐は八百五十頭を新期職人し新に ||子をつくつてそれを剪の鼻と先へ ||十分後でつと賦光した、腹部上院||の臣しこから口ではて

死ねといってゐたところから戦性

の信しさから口ぐせのやうに死ぬ

政策の後に續く

廿人 組織 博裁判 名、頭峠人四名の二十名に係る第一事で青むのこに歌『総称を邸認さて年の1 昨秋で結婚問題城中を 一一回公称は来る1月11日 明十時 れる物鋼に塗され起訴された内地人十六一から大郎地方送院下領事第一株包

| 後り入寸にの包刀を突きつけ脅迫| は海州高有町卸東域(ようと海州海に門前に引渡り二名は端内に飲入| は海州高有地町東気(後によ)で現破は門前に引渡り二名は端内に飲入| 窓に突き出した、原調べの結果右

【海州】廿五日午後六時年

· 多面留古里常常小寶商金及班了

公泉面図岩豊雄草小質商金野連()し近朝道りかかった村人の殿鏡を「それぐ」自宅に覆伏中の南名を鑑い泉面図岩豊雄草小質商金野連()し近朝道りかかった村人の殿鏡を「それぐ」自宅に覆伏中の南名を鑑 海州一十六日夜八時ころ海州郡一下著金さんは曽政にも怪政を追跡一种明、直もに被事隊を出動せしめ

強盗ミ組打ち

心に食刀を契付け脅迫の上四十五| 一名の怪滅が押し入り長男京和で川郡姓臥面四郷田臓館像でも方に

超第四列北が快徳をすぎて聞もな

||四男、二十七日午町二時でぎ京城| |人に戦れ大田岩に一夜を明した虱|

【大田】館館して諸規列和内で第一出総立利日は含を行ひ終って兵頭人に離れて田署に一夜を明した第一餐館職校の調ががあり午後四時館でした。「1111」でした。「大田」は日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の

大田で引き降され

大田署に一夜厄介

く二等的内で女の悲鳴が聞えたの

? 施近威曹保安課と 化?物質品號の胀響! 提出された基鉱物質

弱い三人組つひにヘナノ

煙草店主の武勇傳

双を潜つて

氷上の太公望 ―漢江上流の鯉釣り

强盗恐怖病 ナンセンス

四申告の一と芝居をうつたもので やしまいかとその所止就として避 行してゐるので若し自宅にも強盗 新器「磁磁防止」「漿も強に失敗に が押入った場合は大事に騒つてる

(4) 一般名―で翌朝訓戒の上放死

宮、同人は最近新年末で風器が樹 あるので憩く迎嗣すると果して近 ので記く迎嗣すると果して近 **囲を強奪済走したと被害者自身が一で早前以前世等がかけつけてみる** 段に引渡したが右は京城で栗地後上があり大田興着と、もに大田署 食堂でメートルをあげ三零班の石 と同席の婦人に戦れめる酷乱の神 い娘さん達を追ひ題つた末二等単

釜山の寒稽古納會

歌合の武道戦都古納爾は廿七日子 塩で開催、自信名の柔制質の基者

動者業者からの運動 于給料收訂案:



















派汲取の原製児の死題を避見、

まれてをり死機と共に新聞歌に包 民論した女児の死塾と物明、元山田が急行樹劇の結果盛役二三日を ヶ月位の死産で胎盤も共に投げ込 の手で解説に附したところ妊娠な 学司法院では既然監督し融合監師 もに本町派出所に国け出たので係

れてるたらしい、元山響では目

風

ら見て犯人は外部から投げ込んだ 米原語製用のもので新聞紙に包ま 上和人型室中である。 が同処所は外 理 Ø 知

| 一次感に引見さらとするがはであ
を認用して、病細胞の生品を飽発
を認用して、病細胞の生品を飽発

りますの

これは符名な「錠配わかもと」

尖の 100

清水と云かものは大坂身独のと れるため線みを感得しと云かものは大坂身独のと ことでありま いろ (への音楽館) 病原療法の發見! ぜん の生活 な事 力を强 か め

る

い、この原性で、フェの砂も電飲い、この原性で、フェの砂性ではれて、何な細胞原を原性性に、一角なは、細胞原形質は溶性用しい。その生活を超な水脈等は用いっ含他の健康で、ルルモン性糖のの飽きで、ルルモン性・ボルスのよう。この研究でルルモン性・ボルスのようにはなればから、

に青輝代性を通復にするピタミンの数々の鉱果が期待されてゐるのの数との鉱果が期待されてゐるの

当さによつて白血がその他病域に対 はしますから、これらの成分の臓 はしますから、これらの成分の臓 があると共に娘の姿を充

の問題を求め早くも危険を感じて かよりでやつと収得へ平顕著に突 辿りかいつた坂田安徽と共に五人 造する犯人を出跡、歴門的立で

ので、血液が薄山流れて米で元態化させて、血管を描かせます 平常とは通つた新陳代謝が走り、いたとしますと、この組織には

薦

8)

L

\$3

disadis-materialisa が要求されます。 一般しく

生物體は無數の ますと、すべて

でも次部に前屋に赴いてくるので 美、既は前膜炎等の炭症やカタ

た Æ 5 0 防胃 方だに 寒食物

ġ.

冷

Ź

血します。そして白血球もことに多く呼ばせられ血管能を逃したを強減しようとします。

デネミたし 定型 計版が低ー アムラブ・ーサー アの 端来 楽建 ンーダモ 々超 照路内でのもたし 用利を 足様の 関スラガた 標を程工 殊替、 すでドン タスンリソガのスリポ 新の年上三九一でのもよ ぶと るれざい 間と かあかる か 部内 部条 物助 に 間夜 で 万七の 明 新の年上三九一でのもよ ぶと るれざい 間径 と 同恵 : 貞宗) ナット ケッナ 下流 てし と 発起

製みのドンタスンリソカ間るけれに制度と同語に展話)するうで

テナシテー」を被ニヴュヴィエの一

はるとか、無量を開業した記念に 魚をほるとか、愛情の方の記念で 分野い。例では出版の記念に別を一はしてほるなどと考へたものもあ

者の数を報じほつてゐる奇技な整本の数を報じまつてゐる奇技なを 者などもある。それから迷信に緊 がよく向いてくるやらにとの確認 するものも相當におい。例へは選 は脚衛した女の名前を順次ほの 左隣門重氏をほるなどといふ歌い からサイコロをほるとか子供のた 人が子とが受かるでもにと加藤

五歳の幼見に匹敵する

一種の天井かいパナ・を一本 パッチ嬢の手の弱かた

を用してから標を閉ちさて から出して小声隆の唐へ連

ハッチ搬にコップを活出し

れて行き称やあっと

か」と例きました。すると 水道陸を何度もかくつて開

お前は吸え続いて

ハッボ源はコップを取ると

水をコップに

1

/

じ

れは、竹類しいす

で摘って銭にき

難船したいぞうにと念入りの人も たほ琉球の女のたかには **サストを行った結果割つたの** うって程ます、これはセッ - 供と同じ程度の頭の働きを Cすが、そのメンタルアスト 小父言んが助手型当とり

なかには信仰に十字架、瓊にハ たものもある。すた後でも目が言 えるやうにと蝴蝶や三つ目の波器 観をほり片、方の般に家を任つこ おき じたこの感 味でごうの散じ 網の紋をはる物好きの人もある。 りなどを任ったりする人もあれば 「希望の目前を選すっために

の語によるとこのパッチ機は 名のサンバンジー歌が心るが 七銭になる。パッチャといふスの市立動物館には明けて新 制的係のヒットソン小父さん **木屋でも指揮りの削巧なチン** に大きさの順に確を積み重 の展下に持つて来てその上 置きました。するとパッチ の大雅、小祖を取りかして 傾は一番大き、種をパナ、

2個の外にオンシギを、 手を伸ばして様を把むっ ナ、を取つて職にまし ね、その上に張つかってパ が、その側に、本の 個を関ちるのを思れたの

が多いのである おかいのである では、これであるものでその戦後の もある。次に 名は、 いふないから、一方の向を指す失しの戦れを任づたりでもの戦後の もある。次に 文分をはる心理といふものは、 いふないから、一方の向を指す失しの戦れを任づたりするものもある。 うも脱も多いのは、節ましいとい 影路に縮い思いを我能してやるの でる心理と配く拠連なものである はドイツあたりの大學生が決闘を 何かの記念にほるといふものも随 S職人領質から出たもので、これ 動機にはまた

る。これは歩くと属やお尻が摘れ 眉毛の薄いものが 間毛に文料を てるるか る。その他間に述べたやらに、愛 るので、丁度猫が耐の手拭にじや りの手間をたらしたものをほり、 り多い。例へば耐から背に豆しほ ど、或は南方の乳を顔の花の中心しまい。文身の闘楽は我國はどすぐ 蛇の目玉にしていれずみをはるな お尻に戯れ猫をほつてゐる女があ 人や役者の質難を任つたり、男女一てあるので、登員に したものである。また質を一足に靴下の交身をしたのがあるカ 行機などをデザインの目的でほる したり、既は小さなほくろをはつ とか、またコスメチックの感味で、一質を小すために大脈なものをほつ

一発上人、版に多開丸の妖怪退台、

波は背に那智の識の文

七年の世界映画界の最大ホーブ篇、

英百合子、蜀逸の新進ルート・ 「マヅルカ」に出演)等、験作は數一ケ

二月三日より若草映画劇場(本社後後)

男でも十分現実があるぞといふが

すさか総下の俊樹のためでもある

にぐるりと見事な大名と別がほっ。に、ほくろのことを云へば、ほくれたものは世界にない。鱧の周り。での間である。 火身の話のついで 即も十七人後にから廿二二歳位す 大抵少年期から青年期にかけてで

> に名を願するリヒアルト・アングスト 丹漢作、カメラはこれまた山岳映画で世界

小形男、犀川宝洲、

情は世界山岳映旛界のナンバーワンで邁進 他後援の下に若草映画機器に封切しれる監 継河封切の列に加はり来る二月三日から本 日獨共同製作映画「新しき上」は京城も世界

・開北これに協力するは北郷諸県の観逢伊

る「影異は飲あるわか女優歴中から選扱さ

される、京城における間路針切幌器はパラ 大作で封切の帰江わか園はももろん世界観

に大きな波紋を投げかけるものと賭待 ト語天然色原識「丘の一本紙」であ

れて上海する魔師子

うもには万々にあつて、例へば鑑」るに、このメラニンといふ色素が、メラニンといふ色素は人間の酸の | たり寄い盛になつたりする。 製す ところに出来るものである。この 田舎まれてゐるものである。この一何故そんな風に眩る部分かたまる とか、或は嘘の脈い部分などに像一合にほくろが出来るのであるが、 の毛だとか皮質だとか神經細胞だ。既ら部分に特に多くかたまつた場 ラニンの集まり方によつて、外一かといふことは、その理由がまだ「明かにされてゐないのである」 日獨映畵 京城封切近づく 新しき土

涌さを我慢する勇み肌

-近頃は眉毛の代りや、足には靴下を

白菊を

見事な傑作がある ほつたもの

> 他の生理的色素が多くかたまつた うな形態なんで、これはたまら ると、何の観りもない、むしろ雨 ちや、長くはげてゐたから恥も頭の毛がポッノ~増加しとるん れば、と先生の新子をとつてみ わ」に板型女史、ホント先生、ど 笑ひものにされたくないんで ん、みんなに色缬づいたなんて 外関もなかつたが、再び生へさ 人のやうに金製になったり、戦は たり青い盛になつたりする。要す 最優になったりまた際い瞳になっ 量を突ふのも可忌さうとばかり さん「全く、先生このよんでは そこはそれ、お世解上事な板垣 といひたかつたが、新島宅の能 いですなハハハハー やはり若返つた事にまちがひな あなたが見てもさら見えますか 今年『糀で……』新居老日く

> > 何となく気が済またか

「おや、い」です!

とした限を送つて、炭俵を置いだ

彼は拗わたやうに、巡査につん

まゝ、また、もと來た道を引起

してあくなのかと、板垣直子女桁子嬢ひだつた新居光生がどう 史がこつそりたづねると「質は

船子を丸がない、以前は

學一藝

バツワ

ね、このごろどうしたはすみか

「まあ先生、お髪りもない

か茶日窓分を設施しつにしまれた。

つたんですよ

一強つたな。本書なんだけど

まだ、巡査は笑つてゐた。

は暇合ひがなくなった。

●糖塔厚ラシャ巡査服上下 (####)

特等品 六國五十錢

た。遊童は立つて笑つてゐた。後

奮

ミラ

のごろ

下に、巡査が寒々と立つてゐた。 設量の軽光きにあつた炭酸を、つた。 近所に交番があつた。赤い電燈の エイと遊ぎ上げた。炭の筋がパラ であ、今晩は 彼は、独査に繋を掛けた。 彼は、それを描いで歩き出した。 し触った。息が切れた。

炭底をおろした時、彼は、はじめ

●糖果厚ラシャ外套

一等品二圖九十

(純毛品)

特等品一着二付四國三十錢

てホッとした。

た。手が切れさらに懸かつた。

初めの民居の杆下へ、どしんと

「これ、綴んで來たんですぜ」 間の上の提供を、彼は他で示し 聞ひと共に、今までの好害的な

興間が、いつともなく

型めて

れた。 彼は、だまつて歩き出した。

ジョアン・クロフオード ロンスタンス・ペネット エコンスタンス・ペネット エコンスタンス・ペネット エ

● 郷並省 黒厚ラシヤ 兩前外套(雑号器)

五十

●鰡降茶厚ラシャ外套

二個九十餘

(純毛品)

B

新型の

名稿 (二月) 五十錢東京中野區 四〇番地共山

年、總証費六十萬圓を投じ、交字通りの巨

中四谷區荒木町二七北通暦民保健・保健と長懿(一月)廿五銭東京 ▲探台 (二月) 五十里京市杉山區

● 湖下品 照厚ラシヤ 兩前外套(軸を品)

六圆五

錢

●
難水兵黒厚ラシャ防寒外

京田原橋脇木挽町八ノ四八洲ビル▲ドイフ淵ABC勝座(市十銭東 果京市京篠島木穂町八ノ四八洲ビ▲フランス語ABC護座(市子銭

土京協河原町通丸太町上ル出水町▲加茂(俳藤一月)十五鐘京都市

た時松本薬幅が火体にあた ・ に二族城が出来上つ ・ り性でステージ ・ 杯 ・ の 類点 都 の 『田舎 浴地水光粒出版部

●雑覧 相厚ラシャ片前外套 (雑葉)中

の概点黒厚ラシヤ兩前外套

特品

1

屬

謎

と妙江事を云ふので駅本が が出来たなこと語ったトタ りながらである。素明しい場 「すあ、前の形に記化ね と傍に野た山田五十節が に作ってるた目分のマゾ ーを無してがつかりする

●新で場里厚ラシャ片前外套

一等品 三

□坂湖、駒那眞之助、山浦貫一レ ▲セルパン (二月中) 駿山政道、 ソラー(枕)に記死とはこ が時期的異常い語み物でしたのまり、 二国七十段 A 品一足 陸軍改造 (茶利草) 四三十级 編上靴 ●解除改造編上靴 (中古故意品)

昨一九二六年度ホリウッド女優の 柊林美装番附

思中上器を振聞して第一はを占め

何れも間都鑑で、次の指揮が選ば「第三位

例へば内田吐夢の。テナシティ。

結果でヤロル・ロスペード概か十 ◆第二位 門家十名によつて行はれたがその ◆第一位

○記 記 位

美生投票が設定米隣一流の急回等

雖京城花陽町七九節軽適信祉 ▲長排(新新號)上級、京城府與 前町七、朝鮮石浦原盟 ▲洒薩界 (一月新年增大性) * * * * * 明一ノ一〇、大日社(一月駅) 推興、東京市神 即夢だより ● 機工 無 革編上靴 陸戰隊用累編上靴 ●海軍式水兵短靴(新製品)



名古屋市東區清水町局前 本品へ海軍ノ接下水兵短靴ラ へ新学張革ラ打チ丈夫向品 改造加工シタル中古品ニテ底 茶利草 二圖九 代金引着小包デ送リ小 t

卸問屋 松山合名會

説明智述出

斯 簡 貿 島 南

發賣元

●糖水兵黑革短 革

二圓九十

日ウ英 探過山

ラルゴールの種類と價格米 佛 製 法 特 許

本入(量防児)

特 A 品品 一個の大十銭

三圓二十錢

新品軍隊式編 上靴

茶利革 三圓二十錢

無變 品海軍式

により化學的に結合して粉末とし、此の粉末と結膜深達性に常む色素劑とを、獨特の方法と結膜深達性に常む色素劑とを、獨特の方法の方式では、数菌が強ま特殊の銀劑

UBARCOL

製 法 佛

英

は質に多変あるが、依然として淋疾は難治である。とは深の薬品及び療法機減せざれば、到底全治しないのである。然るに従来の薬品及び療法機減せざれば、其の根源地帯である尿道内の粘膜に潜在する淋菌を

く創製したのが、日英米佛製法特許ウラルゴールである。曹し、尿道内或は陰内に潜在する淋菌を殺滅し、再發防止に炎效すべ善し、尿道内或は陰内に潜在する淋菌を殺滅し、再發防止に炎效すべ

淋疾に就

U.102

まで賞用さる。敢えて各位の實驗を俟つ。 大學病院を始め、著名の泌尿科專門醫、或は專門外の醫家に

したるものにて、その饗特の效力と簡單なる使用法とにより、驗したるものに非ず。幾多の專門家の研究と實驗を經て發賣

ウニ

フルゴールは、單に二三の博士、或は一二の病院にて實

+

入れてある。 之を尿道へ挿入すると、外管は は直ちに溶解する極めて薄き皮の細き管中に

大抵の奴は門な響だが、矢襲り不俺が不動心合言の衝を以て親めば

・ 此奴は智易ならね人物である。

版のお手の内には 飛き入りまし

「確認選では無れ人る。野以て貴

話しみを和める効目が、自分でも

吸めて頭重定業ぎを明らし、月經 世際、関れ風れがみをとり、腰を 髪らず子宮の惡へ浸み込んで、病 らず、八分ですつかり沿ける薬は

動心合言の衝で脱っ返すとは、ど

思議の太刀筋、剱法の奥彦は唯領

せめて専門の薬で

世田谷時人科・忠長 | 福里博士

H

「なに左続ではこざられる神経文

カーつにあること、とても禁如き

の及ぶところではこざらぬ」

現在私の病院で使用するワセトン球を家庭で使はせてゐるが顧る効性とない。 せめて暗熱の関したはで解析にして麗ふ一回の手管の効用はない。 せめて暗書の切りたはで解析にして麗ふ一回の手管の効用はない。 せめて暗書の 他との都合で跨書にかくれぬ人が空画に使ふ婦人懸さは、幾年治師との都合で跨書にかくれぬ人が空画に使ふ婦人懸さは、幾年治師との

うして一通りの人物ではない)

は若いが恐るべき人物だわい」や こそ汗顔の至りでござる

い成程師匠の仰しやつた通り、年一ついや人と症仰せられては、英

も、此奴ア油郷が出来な

いで衣服を改め、客間へ行つて見

| 跳本の次男三男の門下の人々、皆

長兵衛を始め乾兒の耆選、その他 の観卷がピッショリ濡れて来た。

った汗がダラーへと流れ、汗止め

「それは手指しの好いことで!

り立派な人物だ。終然と座を構へ

手に汗を掘つてゐる。 この間質如何になり行くことかと

された。某が余平内でござる」

すると武勢者は、原他に頭を下

何方だが、しかし感目からかは知

(らむー好い間質だなア。 何方も

らないが、少し平内光生の方に強

用ワセトン球を使へば、素晴らし 流れ出ずべたつかず、後始末はい

い効目が身に浸みます。

謂くなく を使つた後で、帝大病院婦人科使

仰利があります。

縄年の様子を見てゐたが、

長兵所は最前から、おつと木製

いますか、拙書は浪人木梨総平

「如何にも承知いたしてござる」

それへ投げ捨てい、

時しも木製総平、木製ガラリ

「愛った」

平内は、きワと配を抱えて木梨 是非一手御立合に取りたい」 「はタ、これは変化内光生でござ

味があるらしい

と考へてるたら

E

は見られない雌である。

ぜ、何卒後型のため、御試合を願 いやすが、わつもが今出て見たと 「今般な武器者がやつて来すした ッやす。口上は馬鹿に丁原でごさ 妙な修業者 (元) 二十除りの勝務扱群の武

が関に行って正 小金井蘆洲 H

一士で、一瞬も二瞬もありさらた人一士で、一瞬も二瞬もありさらた人 方へお通り下され一 ていやこれは失魔をいたした。

もう座敷へ通してごし突立つたばかり、顔からは油のや たが、銀行も珍いた。

門人の一人に云ふと、

すか、ならなけれや旋星の奴に追 趣った風景は平内の道場でなけれ 氏此方へお通し申して下さい 犯も角も巫敷へ通しませら。鈴木 | 「ほとう、それは面白ろござるな、 **糖洗売長病の取実だ。こんな** 一来た木剣二振を各自に受取ると、 実いた棚の崩もない。 平内も思い タリと相正限。二人とも弱の毛で 支度を充分にして、門人の持つて らば即指用に取りませらかない 三尺掛進ひといぶのが法で、 1201 「お手来かに・・・・」 「如何にもお試合申さう。いざ此 速立つて道場へ入つた。互に身 掛撃と同時に木剣を将撃へて と、互に呼吸を計つてるたが、

勇 畫演 治温

受めてよい痛みと 素人には 全く區別 がつかね

療が樂に出來ます。 芯の爛れ腫れと病毒熱の除れる治 明葉を使へば、どんな痛みでも、 手當の出來る素人にも安全な新發 そんな時には、少しの間違いなく 暖めてわるい痛み 冷え症、

前より美しくなつた私 治つたあとは

内服薬や低級な坐薬 を素ん者へて限めたのが無く、(簡)酸者にも長くかくれず酸とを素ん者へて限めたのが無く、(簡)酸者にもほけけない急性内膜斑さら胸が一様で創催います(中華)度めてはいけない急性内膜斑のでいました。それも迎よく知りました刺索の測断と具令有腱 答云はれてゐます(略)深く~~劉號甲上げます。 新人類で哲院した場が、野大舞歌使用のワセトン郷を呼ばて歌めを素人考へて服めたのが思く。(略)教者にも長くかくれず散々 けて頼の陶もふつくらと如年始難りを取しましたのには協場が吃お正月には思さられないと影響してゐた私心能を結び存着をつ **み腰の窓の傷るさや臭い下り物が割れて行くのに元。園的いてともで使びますと是窓の薬とは使ひ心地が金く造び(略)下腹の碳解** かくも身間の故障を感じなくなつた時の裏びは、悪には盛せませ 新寫·問願洋留子

に一回で異女でも安心に既へ無難、原商店へ関申込み下さい。 正報で1月一回帰証なら二日 医原神士者一女性の新生課外上海 (女性の新生課外上海) はいしているのが戦らぬ内に振れま (液します。穴巻でも同様です。 と云へは割りまする品切れない要店で「市大客院使用ウセトン かしい方でも関かに使います。

藤五本松 工 博学医 長 聢 雌四大町倉



ソース本館 觀越後屋

哥

か 込 图 古城憲治 日 1 一可治明研究 常四二指本等可 当通 病 で 大院 随 で マ

下粉化去



つとり方

ひとつで

八大〇- 九〇四 電 八四四三.四〇九 本 掛次 - 城京替振 肌 に弾 芀 を増



合理的な方法で美しい若肌を 粋な子供の皮脂と同じ様に大 科學の國獨逸で發明された經 して來るからです、けれども

れて來るのは皮膚に老麼物が 出來、それに外部の刺戦も増 美しい子供の肌がだん(一汚

サラわと肌に溶け込んでアレ止めによく、豐

ルモン性弾を配合したマスターバニシングは 八の肌を若々しくする驚異的美肌耐スキンホ

タルミを防ぎますし、皮脂腺を掃除してニキ 富な榮養は肌を生々と弾力づけシミ・小微・

く程化粧が永モチする等質に効果脚點の科學

一等の心能が無く、それに化粧下にすれば驚

的クリームです。

管禁事的中越進星

全"

M 完 K

歪

性劑配合 郊 獨

> 細菌の を防ぐから を 鄸 M-妨 꺄 力

使人 負

ウェールドの で、実施受容利ラセラ ジ用として最適の結婚 ジ用として最適の結婚 部の形れや指言で経歴

金 場別城京 100 | 二十八日のり六日|| | 二十八日のり六日|| | 世 仮 三 回 | 世 仮 三 回 子、深水磨子、南川路 小林園四郎、竹久「忠 ・ 1 一天、 デ ・ 2 一天、 デ

上映序引及 11,30 3,00 7,00 一月二十六日より 京 日 ニ ユ ー ス 11,30 3,00 7,00 巨 毛シーグフキルド设置は40 3,12 7,12 日ニュース嫁かるた 1,20 4,54 8,50 朝 家かるた 1,35 5.03 9,05 ŦĒ. 16 入期科金大人/I J展 20 00 座 治 小人三し選 Bj 60 60 0 1

(1) 日活日活日活日活日活日(1) 日祖日祖日 舒 兴 奚 日活日活日

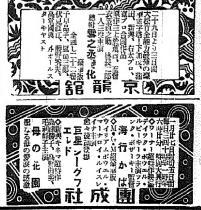
大級 否 音 初来安湖正 知 舞 湖 》 座日朝 TREE 词丰置怪词大 即太道岛水 所下席十銭均一州一日まで四日加公司 や坊と家闘等 三二一世 島映動孟大作特超アピムロコ 者ェの獣百 ベデー製 闽丰集双下木 男州九郎阿 #35 000 櫻夜の賀佐 32 央中職職

特大 學家の料 主 嵌 萬 亩 女 外金 ナ カ ワ・ス ミ

十

捌スンセンナ

王 巌 萬 流 女 カ ワ・ス ミ スンセンナ 最萬戴劍





か、非常手数が講ぜられるか、組閣本部は極めて緊張し他を国確なる組閣を判する大将の動向が注目されてゐる

日年期九。母半型連邦に質問等分を一単連和に入り職会の指示を受け、「韓に答べてそのすく戦へ引込んで「興津電話」「韓田館練男は、十八」四時四十分院公の招きにより再び「書館の質問にも写しくもぶつきに

間に答べてそのまし襲へ引込んで

明倫曾が組閣 断念を要望

園公の指示を受けて

原京方面と宣奏連絡になった

軍の動きはこの方向にある如く、或は難局打開さるゝに非ずやどみられるである、これは異層層においても是何かあり、實見前他ではこが、實際を重は上巻こと放射可と無はなるか、 に留任の倒沙汰を賜はるやう元帥會議の結果をもって奏上遊ばされんど するこのこと收拾の御協議あるやの説がある、即も時間支につき資源でを急く慰ありとの即盟申して陸海軍大臣

[涅斯聖話] 部居住みの大臣等内 | 膨胀に見換つて出た等内陸村の

14の新鮮で戦局の運乱。はによりともしない「億の方には「ものであるから、組織を整念され

することは戦闘の変定を削壊するの名を以て宇地大勝が組織を顕行の名を以て宇地大勝が組織を顕行

でお光さに生れたお鍵さんの名つ

対子を持加しては光路にのんび

の枯り昼で飾局も開に関連すら たる。高着さを示し、どこ迄も生に解的を扱いたり、相触らず悠

を感じてわたか、二十八八あ

本語的には同事機化はない。日本教育、世典に考古には「日本教育」との言語の結果編文 版と解説、左記一個一名を行つたたる。いいか全方法の内の、問 大島に非難の方向へ向つてるのでのないかの方法につ るのではないか

|増以上、今回ともお答へ出来な「で、各事務常局は後趨以間間なる。| 全員今韓政会は次学垣大野の心。甲度質行達蘇問題を燃へてゐるの。| 全人ではている。

最後の御奉公として

閣と智慧、左記一関一答を行つた。 選挙を生せしめつつあり、然に新聞と智慧、左記一関一答を行つた。 選挙を生せしめつつあり、然に新聞と智慧、

落ち着きを示す

内部による症所解散を見越して明 の非職職にほ替し嚟局は密勢に要」相意歌に開かれた事務大臣經濟の三蛇事務の主に重大なる支獻を求して戦に五日、宇越四關は本庫有「てをり、この塾に職して非八日自」の主意安定を聊養すると抵に、 施田園店に解決すんことを期得し、協語されば取務質問としては終局

相ば即に開かれた事務次行野頭の一戦事務の上に軍犬なる支献を来さ

倉棚しながら間提の記念陣制に到 近處に到り試足有力者の後兄

宇垣大府の紙際に到する話情

で うに 傾く

原田男園公訪問

京城 整明二十二年 医二八八四烷 医二甲甲二十二年 医甲甲二二十二年 医小工 郎

鮮米買入要項

宇垣大將は語る

ほ最後の御奉公ミーて何こか打開す て居るやうに考へますので、組閣に 時局は目下最も大切な場合に直面し る途について折角苦心してゐると

同れる解説した。三名の機能者は、あるに拗いす、守地で移の代記は結果推議した。三名の機能者は、あるに拗いす、守地で移の代記は結果推議した。三名の機能者は、あるに拗いす、守地で移の代記は指するがある。

おいて原軍者國上た一客經統領域は支重改主と見られて宇宙大將を訪問「陸」な經統領域は支重改主と見られて中分、寺内院相は弘一局面も開。任は、少小智能され、

の情労を説明して顧問を確認。相は、「作は諸軍との正匹蘭哭に下の計一時、杉山政育總監。相以上の知言結論を辿り字起大時の計一時、杉山政育總監。相以上の知言結論を辿り字起大時の計一時、杉山政育總監。相以上の

宇垣大將の動向は注 理してその責任の重大なるを確認、東部の反對を確認して四月間悠々規制を部に起居して一路回 原田熊雄男が昨日 車要連絡に當る

日 今晩これから出かける僕定は「答「組園を支手」 あるか あるか

一説国大いで第三次第三数所一国が誤励されることくなった。今

た問題となり、田口典語で表えか | 一氏(昭和)の趣音を発起に入り、 | 本例(な音音を含くるで、観井貫二 | 氏(紀女) 等は | 側氏(孔) を

とをすれば実際を増かればも機(かけ、実践)にもも、海道の対は機を増かればる後(かけ、等数域やす場談を重ねた場合の対は機ができる。 実にの近くがけ、等数域やす場談を重ねた場合のがは機ができません。 とい たすべきじらら

一部長日常に開贈。名田・陸田・群島山麓、まつ極度より。一部長長後、摩は井八日年後、1時 | 四十四年、東方徳三郎、移師書の記述を発達する。

我當局は注意

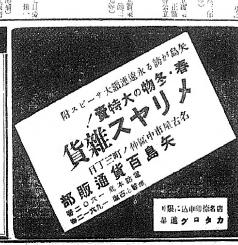
新姓氏 (11) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (

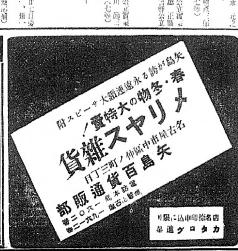
夕刊後の市况 此、日本杜家初 不門者等忠順)

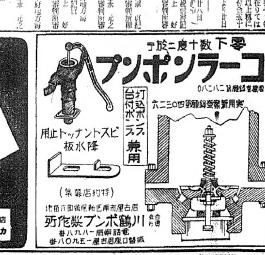
最高級 理想的 內科 般特二 である。 ベニヤ板用機其他 諸機械製作

名古屋市南區八萬町南荒江一九八七

株式 松 下 機 槭 製 作 所 電話前 四九七五章 松 下 商 會 營 業 部 名古屋市南區西古渡町中島二十一









内地に先んじた

サジワク王國本社特置員

チャンを局部に直ちに戻り込めば

るが、ボルネオの土人は裁判にか

色々な意味に於て、 わが国の内部に思想的な對立

建築材料它給方針

鐵材は日鐵から共同購入し

政界案じで

失明スル淋毒性眼炎

分ですむ

國民思想の

夕刊後の市况

て斷然救護出來る進步的治療法です.

服薬は勿論從來の局所薬での失敗も本療法

發明者 古原病院元院長

佐藤榮先生

は非常な縦手を蒙つてゐる、鉱中一題のたる上山脈より勝入する

品質を向上

勞働者の配給に全力を傾注

殿の生活を保證

自創館を緩和

手當、獎勵金で能率を發揚

事施行説可申請中(「部は既に説・智徳測量及款計を終了總督府に工・七キロの敷設は既に昨年末までに「十年を級道器梁誘鎮度浦間複綴二十一年を級道器梁誘鎮度浦間複綴二十

平安鐵道工事

でへその過激に概を覚ましたもの同所戦にも各種あるので健師で

補助トラック必要から

と直ぐ頭を悪くし ます、輕いうちに ルの楽で早くお治 鼻や耳をいためる 定價 ニ+銭・三+銭 元寶壺

阿波共同汽船下出門

使 棉 社 鲁 名 号 木 大 町路面近大・田南京東 代票 野口商公內 厂厂票

外用塗付藥 **耳**水大 自身なは りすく 条件所 境域三中地・変典大神群・タイポンツ・リストビューロークヤポンツ・リストビューロー 番山 衛船組 (一川)壁 田田 組

xin 神港藥品研究所調製

各栗店ニアリ

粉末種

口日咳專門藥

版 用 不二一五. 中 四列回转

ル夜氣百 **咳**二音 サウカ ルカタ トタル

三 大阪商船服出帆

の自日咳には

山 起之 元町一丁 自八番

戶塚植物園卸賣部

埼玉縣北足立郡戸縣村西立野 埼玉縣北足立郡戸縣村西立野

シンコウ

Ž

外油の統制强化

| 響場 | 浮腰の外油 | 線總府の英斷的措置

く、寒いからと言つて弱から晩まった時には、消化療を飲む事もよ

記戰觀

"子龍双"

BOVRII

原効ある生物飲料

AOVRIL

数音分は

HOVRIL

カーブが耐く5°0、

HOVRIE

日本語代理店

カルノ四合

ボウリル

ボヴリル

ボヴリル 茶匙一杯の

感胃の征服に

の、同步、同級、二四步、同步、五五三、二は取り敗へず五七級、五五

提高して、部屋の定省を清掃にす

事が忘れてはならぬ事です。

0,8,0

野免疫を主とした方がよろしい。 既を誘いてすくなりますから、

主食としては、胚芽末又はベン食 るべく消化のいし、精養分の怒い

響がよろしいでせら

少しでも消化器の弱つたで

◆町よのですから離り参量は必要

-次に、食物は、酸・塩ン類

間に集中して、頭の方は控制し興

としません。吸べ過ぎると心液が

持時間各九時間

消費時间

と四十四分間十二十二

れに際じて小県君の同金と阿 #若の三三所成は

質問の

藍面

綽々餘裕

不敵の小泉七段

と指すと関節の少は保護されやうが、五七朝野き、五五歩、同歩、「海」、と役間とれた場れがある。 ついいて山北君の四五程は原定の作能であったかある、これは漢字と安つても叱らればでま

作

戰

奎

五野本年一家並書

試験を受け

かうした注意が要る

は極近衛と、と思ひます。で、本人は勿職まはといふもの。それに関まされている処理が多いといふもの。それに関まされている処理が多いといふものと、一説、然じられてしまつたといふものと

上るものではありません。いはゆ を飲みながら勉強をしても能能の

四年

シナ 氏泉小△

五盤新金

步

金 易二郎 評

使つてらした方に 舶来品を、ずつと の作品です。 組織する無敵艦隊 若き科學者たち

比べてほしいので

步 労 力 五 銀 金

う、決して徹安等なして、異<u>物</u>制

▽ 同・ 金・ 2

4

मं या या

桂香

であるが、三面かでは面白くてったい、上海がと標準を で今日の手番出北七段の七

光心規律的人動強をすった

る早後早旭三元分な休波を取りな

がい常に新鮮な顕版で勉強する事

3 F

供さんの

良いか、殊に酸対疑りの小型状态

第四局

Û

小

泉

蒹

孫

-

まら散散器と思るが、敵が長者し敬が同趣なら形が悪くなつてし

告油だけは何と お好み次第でも 出汁はそれぐ 云つてもヤマサで

> 京城府黃金町二 最替京城五九九五番 是新新本稿(2)三九〇四番 京城府黄金町二丁目

0

のちの難化を讃んだ。

郎吉

問腳

器展度の子供には交見の細心た往 りの人はどんた建議をしてやれば

野さまは

作が現代送か、動作失へとそして

れの時代か最も美しこで占米女性はいつ

もある

度に女性質を複雑化する他の大き一次酸された内面的の美が機器の渦板維定る酸と設ぜざるを得すせん。 心の美の深さを増すことになり、一般になると認ぜざるを得すせん。

物理をもつてゐるといふとがいへ 結論としては女は常に無限の美の でも常に楽を開くといふわけで、 へる場合は、愛する男にだけは踏

(超博小紅術太郎

れて、子つて後、手里の方をはく

の導くと言にはまつ指金物を人

張りながらはかねこと

◆ねぐときは反對に手甲の方を とは狭してさきに手中の方を引

田が様りの軽は、しん姿影くといい を、様はゆきかへりをする子供や 縦とけのぐもやくちやした田気道

トの部門地は呼だが、

祝クリームといふのは、無色の「みを得く塗り超く拭きます、熱くなるほど捌つてから靴クリ

はお大水

| 實物を見て誰方も驚く

华

壓力强

₹

型聲進星

素晴しさ! 一咳*お早>

噴霧 H 式

店理代館明

會商明泰 所强出城京 八一八一町金瀬州城京 第一〇三三屆本部

第三〇五五域原醛口鱼肝唇的

· 越來 間轉 清摩用

在師豐富

1

フンドー

あ

るまころ

場造釀油醬杉高

9 11

0)

仁

K

髙

擊

價

Лi

複雑なる酸と感ぜざるを得ません。

災の極級があり、それに近頃のや

うにトーキーとなっては聲の魅力

には削減の新復の美に促性の美が

その研究方に非常な影響を及ぼし手袋ははき方と繋び方によって

平海に水もちさせる法

た民へ牡蠣を投じて落らし、窓 グロビンを作らためになくてなら、火にかけます。よき上つ るからであります。この部はヘモ

れた頃に蓋をとつてよく眼せ合

四様状役をなずものだからです

ことは、質によい事で、どんなにしじる秘かしては取かいて入れる

ますから、少し揺目にして水加 た上に入れ、社類から水分が出

あります、牡蠣には加液を作る窓

題は二三日出版をに称ることです が成る縦まずによいものです。

北の はに (チャとかラン

と蛋白質と、確びに飽を含んであ

家庭メモ

上げて水脈を切つて置きます

、来は沈つて菱藍に見布を敷い、臨法の一つにかき顔はといふのがけて水躰を切つて置きます。 にも大へんよいものです、戴麒の一の大のとは圏がで手早く洗ひ糞に、貝類の中臓も損俗ようしく整弦上

ます。つぎによい用ひ方としまひ

田舎道に汚れた

お手入

n

の兵隊さんたちも、この出から

堂々六百三十頁函入の大書籍附録・

こ足の視似をふせくさらです 小山も非常に圧を温めます。 流調 及職を組むくはく事が山来ます。

方とを中上ませる

更 見る時は、國女の美 けで、これを別域と 別船して 考記 に女性要を単節的に 節に関じて美しさをもつてあるわ

あり、それをすぎて中年となれば といった所があり、主婦時代の美

美はいつ に他じた 併し年齢

只

は〈野性美・・白痴美

した

を
近代美

常にリズムをもつといふことであ というのは、女性の日常生活には

な風景を見述がすことが出来ない

落を棚かことになります。換話す

東西とい多次から帰てかな」うにしないと、なかくし跡が収れ

※グリームをお塗りなさるのは勿

おに密む首めたさは、下載で選す

特恩さ、それを交際別はく時の情

倒か当にでも逢つたあとの靴の第

ふことがなくなります。ことに

主

手

捐光へ順々励いて行くこと 指のつけ根まではいておいてから

画画 開記 に れをなほしてお 00子。此00章章章章

が、この頃のつうに何處へ行つて「無限の波動を数へることが出来また。この頃のつうに何處へ行つて「無限の波動を数へることが出来まする歌魔域の変化を通には特殊の酸化があり、寒 喫茶街に、オフィスに も女性の記述時代ーーデバートに ぎにおしながされて、女体質の標

早 したところが、そので、 の関係が促進化したことは事質です。か の上等を手といっとりも、ファン 形の美から表情の美へと男性の観 しさです。それもその女優の御校人派の御棒は走馬坊のやらなはげ

心理の移動のまゝに一種の時代自 は今何處にといひたいし、殿顔美 優としてうたはれたクララ・ボー を織りなしてゆきます、イットな

な美、白柳美、可陸和州の美、等美、ロマンテイククの美、野生的 際歴史、表開野、理暦の実、華秘に河落に聞いたといふことです。 を認つたデートリッセの人気も正

ジして創行を上くなさるや

は、ロダンは女性か 結婚によつてた人とうに一人側が なんに女性かとなる気が、如の女性になつたその野蛙さをた。 たべたものであり、大に女性かとなる気が、如の女性になった巻美しいという見ません。 たべたものであり、一番美しいという見ません報義の変現をかなっ、粉神的に側 とまして観音のであり、一年全 美は肉顔美と野頭美のハーモ会 美は肉顔美と野頭美のハーモ会 ました報音のといる経過とあること

の有名なストープス夫人は雑嬢に |大しいのは姙娠の初期である]と 新花のもつ魅力だ! といひ、英國 作品排稿更を描いて「女性の最も

うな方で、たまくし手首に聞い 火銀に対終あたつてある。

かのロダンは「女性質の最高峰は

面白い見方をした人があります。 いかといる問題についている!

のやうなものが出来たのを見受

さすが、あれはではりな人りにマ

一當 流代

Ó

戰

(3))

田し焼鞭したところまでのいたか、いよく〜四五歩と突きが、 **附記しなかつたので飲めて見るこ** 脈**藪の関係でこの**提に付いては

暖か

い鍋料理

マニラロープ。絹紡細絲綿撚絲。麻綿。ミシン絲

並い洋根を存した場合原族型です。されいに洗ひ、甑も「緒に必ず鑑売れた第小院でせる、臓の「×……その他、戦略成展期に手を着へ終わた時気になるのはる中」にくいものです リームを使ってマッサージなさる 論環を見て手先から腕まで油性ク

間でリセリンをお求めになり、た つぶり思常に譲つて水仕事をした メーニ・指述に出来たさくくれば語 事が大切です さい(野田サニ子女史 い時は棚屋でもして置くてうにな

主動がたの思ひ及ば収機です。

扱さんなり換さんなりは、ぜいそ

た確信が分手入れをしないと、 れを思いやつて、温い靴をはかせ かり落したら、乾いたタオルでしていまれた場合で持れなすったい。如くがはなり、すぐひでわれば成び汚れをすついたねればなが、すぐひでわればなどがある。 て上げに下さい。それに備れがも

水を加へますと、むけた 煮並つてしばらくしたらば るりと認かおけるでもで 摺光で観をつまんでみてつ 様んで見の皮をむき地に

し水を注ぎ、手

水をたつぶり人れ遺憾を一 うまな加いて火にかけます て、水椒をしばり、

自穩元のおしるこ

火を掘くして充分軟らかに再じ火にかけ、煮立つたら いて腕に入れとかに続いおります。俯はこんかりと療 際、水を加いてお汁砂を酒 備を鍋に入れ、適宜の砂糖 てがつて上から水をかけ桶 り、盆にあけ、下に楠をあ じりの水を堕に布袋にあけ に流しこみます。この留ま

けておき、翌日よく洗つて

次自録元は一晩水に漫

文房具、骨董 鳩居党職奉題



上げてみました

の光に浮び出た乙女の壁、とも云」に載します、三越野谷部田中なほ。

に致します(三越美谷前田中なほ

助けておきます

淺春の日本髪

かな展接にたぼを可愛らしくつめ

重々しい所規表を取りさり程で

變学り学師学飯 △牡蠣飯

つめて、前壁は大きくお願に合せて禁刀をのぞかせ、髪と髭を少々

てゆるく出し、掛け物も太めにた

た 有一寸、海苔学校、わさび少々 有一寸、海苔学校、わさび少々 が 10米一合、牡蠣十粒位、だし昆 で

て添へます

これは非常にあつさりとしてお もみ海苔をかけ、わさびを卸し おけを繋い魔をかけ、その上に き、かき版を茶碗に盛つて前の つけ、瞬の楽もあしらつて味を 次に海苔を焙つてよくもみお

3、 次にお汁を仕りますが、顧面の煮出汁を一人八分成づと作り

いしいものです、これから牡蠣の 出盛りで食べるによい季節です、

郷はブランよりラシヤ布で語る方諺るとおきに光り出します。好い

を の手入れはこれだけにして登い て、今度は置れてある新の中へ よく乾いたもみがらを一杯詰め て置きます。からして一発堂く ともみがらが温菜を吸取って、 和はすつかり続きます。子供の 最新などは、新聞紙を二三回と りかくて語り あります。

各篇を別々に買ふとすれ の第一の接吻 の果まで























思ふ、市気料金低下は産業酸一人が規模しようと一向精は内

【永同】忠州部は自公曹校心散治・州西辺組合では二十七日午町十時

の三ヶ酒清倉社を取位に改組の荷 [清州] 既報、清州、原川、神山 創立總备開く

簡易校認可申請

の范洞料金の値下 に重大網路を有す [年里] 大衆生活

都平城の健康を

比等の策動を不

ついても越越を披露して敵別した「理事者の登場を裏切つて除蓋問聽」ぜられてゐる

府民の膏血を搾つた 府財政は不純

料金引下げこそ刻下の急務

護渡如何は第二だ

【平相】去る廿月以来廿四所以と が複雑に回じ続にしらは 「郷底は急速可に型化し原皮のの、 」 「一時から投資を変したが変数を含む 世次はの関連にあるようが会数 (では、 一時から投資を変した、変数の変した、変数の変した。 「一時から投資を変したもったが数数を含む 世次はの第四体のでは、 一時から投資を変した。 「一時から投資を変した。 「一時から投資を発した。 「一時から投資を変した。 「一時から投資を変した。 「一時から投資を変した。 「一時から投資を発した。 「一時から投資を発した」 「一時をは、 日本では、 日本で

金良被外四十二名

布状態を調査

平壌商業生を總動員して

所勸業課で實施

敷地難 鍛消用地と

らふことが双方の利益であるとい 交換は大損

[44] 新齢業 豊ら勘立、各価関品の出入総額と 生後は直線階級やで基度額を出いては野米が過 消労帰属の制造を行ふるので相當 た、なは同次は公職場で通貨額を開いての道標ともな の日時とう歌の際域を必要とする を無線公開した

行三名は二十四日來卷、爾政地方

愛婦會員增員 [智川]

仁川商議新年宴

清州に第三普校

有志の運動奏功し

天然品であるため

種々の操作

庶に棲む魚類の體内で認識された天然の や周形物で粉飾した製品でなく大洋の深分を人工的に取り出し他の臭みの少い油 倒な操作をして、この微量に含まれた成

肝油を油塊のま、断衣化したものです。

独)で標準用量がイナンA 「C CEMPRE 住 に到外に対すれて 居らず、 僧緒も低級であり、しかも野狼されて 居らず、 僧緒も低級であり、しかも野狼されて 居らず、 僧緒も低級であり、 しかも野狼されて 居らず、 僧緒も低級であり、 しかも野狼されて 居らず、 僧緒も低級であり、 しかも野狼されて

運するやり、非常な精巧な設幅と、周到な科學的

方法とによって藍密に検定されて

あります。

では如何とも方法なく指動は自然英大な犠牲となり現在の組合財政 れと交換する場合は學校組合側の 概念の位置に進めることとなった **死りの用地は約一萬坪となり、こ** 際正官合及定地を整除されるので られ、多様の買機金を繋する上に 本年度學級団加に伴ふ地震計画を 刊りとなり組合では已むを想ず **氷上大會** 體協主催で 三十日開

在の採掘館でゆけば四百五十年

當つた債券寄附

【仁川】仁川豊有協議では三十日一、甲城市の明常な南路炭銭とタイー 將來への道標べに

関語規模を合理的に利用すべく目

朝鮮嫌誤所信では従来代付が思く間採掘か出来ることに目屋をつけ 資が認かつたくめ持て刺された和 事務員約三四十人を募集してん。 であらが工事の職士到二百人、 であらが工事の職士到二百人、 であらが工事の職士到一百人、

順炭 和順驛前に煉炭工場を設立 南鮮との握手成る

が終近の代地は都市計画で設分別

五日間に三る委員會

收穫なく遂に幕

期待も空し『資料不充分』で審議未了

府理事者唇を噛む

た府電の譲渡

H V 33

大阪商船出机

ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことにして、ことには、

『南州』新忠北野が課長に学務の『南州』新忠北野が課長に学務の 日高咪長挨拶電

お願ひす、延引ながら即接渉申忠北在動を命ぜらる今後買しく記清圏規二十六日左の着電

まれてゐたが、この観本所の調査・四五十萬朝にして南難に於ける歌、局に原情した。 でれてゐたが、この観本所の調査・四五十萬朝にして南難に於ける歌、局に原情した。 で有数では、後来九百三十所種と「知を終望することになり年産品」を指数しこれまた文兄代表が都然、本析関抵記機道護申改築氏は比二日午後三時から津南公主書通長校 提覧で計画教化「雑讃・四」の講 は、後来の「記」の書

[仁川] 府內本町四丁目株式心物 邱南線實現に 期成會蹶起 し盛留であった

【大郎】昭南殿の十二年度新設賞 | 途附在線である空間も図れ三道の 三道の都邑聯合 ちかく幹部會開く

|| 内げて出越したが、これは河頂 || を開き所認其現認至の定態を開始|
「内げて出越したが、これは河頂 || を開き所認其規認至の定態を開始 | 大郎では五くの | 大郎では近く明波館の歌語像で去げば、東京では近く明波館の歌語像で去げば城からの殿道水崎、『明』で、大郎では近く明波館の歌語像が表現字響のます。

肝油が効くのは

微量に含 その中に

ます。しかしハリバは普通の肝油から面 まれておるヴィタミンAとDとに依存し 微量で効く

• • 1

新年日 新年日 新年日 七年東京行 | 1971 | 1971 | 2012 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 2013 | 20

是基質日 河洋宝日 元山之日 「日」 「海河子上

1. 朝鮮郵船 定出机

糖衣の小

粒

完成するので大事では直も智元二 を問個した 四両南海岸綿骨の先鵬をたず市動のと開取(木浦)を組成する朝鮮 万川器の納食

第の入型雑級和のため民間行志と で競与された、脳諸永氏に管理 【清州】 既報、數多朝鮮人善品。 | 鄭 浴永氏に決定し去る二十五二 愈よ新年度に實現

で 1950 - 一部 1950 | 一部 大いに期待されてある動をしたのが繋むし初祭約1 | 中部 大いに期待されてある動をしたのが繋むしが発起となって第三神道 三枝成玉道 | 十三歳の若年で今後向氏の活阵を縁起となって第三神道 三枝 では、1、1、1、1を持ち、1ないでは、一つの程本道主役に昇校、これでは脱立實域の青泉が飛んだ、帯では、残なる動物道の最近間が明白には脱ぎに破と相俟もなく十二年度に「一前[成部]支昇的文(『清朝] 段が一名となった

毛利城址の公園化

いより

~新年度豫算に計上

戦ではまだは歴史設立計戦に成つ

徒に大量を用ふる

の標準用量を、飲選から数ヶ月に

に亘り、永く飽かん。 油原法は右

よりも、肝

るないが虚から同様へ割割てい

釜山に新勝地出現

▲山口政一氏(元山分都局監督副 長)は「五日復北鮮から時任 長)は「五日復北鮮から時任 ▲西田常三郎氏(元山野日新郎社 長)廿六日留任

紫外線ヴィタミ

木邦近海産の成る魚族の肝油がドロの様との窓、

めて豊富な天然給加である

ことを發見し

何人も喜んで特ね連用することが出來ます。

あの嫉惡すべき不快な思臭がなく

リバは徴性の服用で足り、且つ、智器に队つたりせずに連用させることが競も緊要であります。ハ

シャマと渡り

れる器である。なほ第三世校は十

記二百八十名はは人思維を認和さ 数は一型級七十名はとし二百名属 定してゐるが第三世校の解集別電 第二世代に関する道の補助 世の決 川州の理校に創路でる計造らし

「第二世校の一座版を合せると合

八小説とし建築製の財源は周江に

仰ぎ平賦信型方法による模様でこ

れには地元民の資道もある程度出

値となってゐる 三日まで衙門各門助手及び自興團

時内の人絹需要を

水登浦に工場既に竣工した

尿畿染色の目論み

程代表者が非常同を訪問これが質

「船口」京戦回去室東道氏は今回

慕賢面長更迭

「総裁である。古同校総質文兄選は 永同] 韓山公世役は現に四年間 普校擴充陳情

要とされてゐる

西坪へ桁製二匹五千六百回を投じて新道路を開設。山麓かかける貸車な史報となつてある並山原費面の毛利州址約五

梁、交通主木、保健施設、教育方面に新面目を設施する場 層をするめてゐるが、その中目新しい計類としては府内に は相極的の個成を幾想されてゐるが、所背局では各性簡単 【季四】都市神教と行政国域の節限によって十二年度後葬

範的公職を實現する豫是で十二年度景集に所要を設入し、概、紅葉などの職實用の職本を補込み、對単の致の以じ、概、紅葉などの職實用の職本を補込み、對単の致の以じ、概、紅葉などの職實用の職本を補込み、對単の致の

て転民保健の向上に貢献す 『肝油はハリバの時代』を現

るを得ました Dの給源を得 川いたしまし

▲子世界前原作マキノ超特作、か 「海州三十日一日級り

将來は獨立 醫員もすでに決定

のは進川百戸、高城百戸、延城五十 のは進川百戸、高城百戸、延城五十 の一、推城百戸、高城百戸、延城五十 町、横城百戸、高城百戸、延城五十 町、横城百戸、北城市

鄙

۷

寒い

./ ٥

平壌スケツチ

の規模での他につき左の通り語つ びとなったが同位光吉登格は下温 竣工し二月六日竣工式を駆ける連 数二十九萬族国を投亡昨夏七月起 を加工工場としてその隣りに認工「永登浦」朝鮮染色を買收しこれ

【春川】新北部南西地震は南

した京産染紙資料で退はこの程

江原道の

瀟洲移民 希望者七百月

がその成績を期待してゐる。

は六年気三塁級であるが毎年配場。になったがその後世は同道駐山里投方を製骸した、なほ臨山公野校一号上の都合により退職すること

東京·大阪 田 邊 商 店

までの。眠さい、量の多い肝油に代つて强することになりました。ハリバはこれ れを従來のハリバに添加し効力を一層増れを従來のハリバに添加し効力を一層増ましたので、力價を正確に測定して、こ

ハリバはこれ

日の最初が四

+



髪を美化する 造し貴下の期待ずキザに光らず頭皮によく浸すな香氣をもつ整髪料は他にな な香氣をもつ整髪料は他 が待に背かぬ逸品でする。 透してフケを制へ毛ないです。イヤに粘らないです。

受用者の飲息!

メヌマポ 水

メヌマあり

大東 阪京 井田京荣堂

MP -23

国的安全地帯に架上げ、アッと 一大利町一九五成氏(GC) 大利町一九五成氏(GC) 大利町一九五成氏(GC) 大利町一九五成氏(GC) 大利町一九五成氏(GC) 大利町一九五成氏(GC) よ間に知人の結婚式に参列のた。氏(*6)の五名は直に附近の金剛は一

自動車で重傷

口を含くながらその帰立去り強か

地形で立能り今度は帽子の上から

五、六個を跨退みにして修々と出

被害者に勝利人治さんは操へなが

常は家に属して「腓局が端の排除抵抗のない逆言語がにまどはされず、自康してほしい』と云ふ必帰の養料を纏し、半部が成の安全を無した

本版整数局ではその都接合直接条部にこれが取締を命令してゐるが、さらに計八

迷ふなかれる布合に不然の相談をかけてある向きもある

から

成立するか、音かの間壁を中心に 前語行字組一成氏を首提とする内閣が 人な流言聖譜が飛び出し、一般風楽しくな流言聖譜が飛び出し、一般風楽

のものとなつてある

派言書語に

驚きました 遠藤さん語る

た國明で内鮮人別に分りません

西重仏の首巻で登皿をした上光刻 て行つた、惑いた主人は「泥棒」と

選中と外にはないかと何い無駄

を見て飾りの安さに覆かされる。 端本を附録につけて大概行、附続 めた四六物師人六百三十五の大嶽 久米、背扇の三氏の代数硬作を収

で主人の意気治さんは大限自悪を

製造の専門が目標を買ひに来たの 一部下下の子まを発揮させた

你の口まで降りしきつた都も止ん と上間かい 味へ上り 「主人金を出

その協会いで本町器へ市告した、

郡大江南蔵正貫等土河の三壁腹壁「風嶽がそろ~~寒殿から齧め始め」の城間をさ~~煎りなく頭を絞つ二十八日午後五味ころ水譲渡長園「ナソスや赤卵をほじめ艦々の歌集」のので、京蔵程原生職では等原郷

突如京城の助脈線資金同に設面の強縮が現れ日常設々たる街々を護摘し

でせ
う、とに
角
題
きました
一
で
せ
う、
と
に
角
題
きました
一

新知識を注射 和部の 醫者に

傳染病への布陣

これは辻强盗

T

竹スキーで滑ろよ滑ろ== #マロ(下)手製の吹雪の中ゆく兒童莲(下)手製の

風の運動性を遅いたまくづかづか一般 1950を遅つて 暦子を知つたものか

為所の大通りを成定中、同所和前、五二七年氏(**・慶)り二二七成氏(*) 統に申認めりません」と認備しての自動地を記載がに引動り出しれ。例の機能大五般原復。**記記通り、ひ治つてあんだことになりました

1)は無疑罪であり早ら移摘者からを働き倒し重に励る資はせた、重 衛は『霊のミブレーキが引かずつのようキ自動机修植『掲鞭工書堂』大乗町「二七版社』ごはか十数名(急手書の上記をした、何加恵書籍で入してを二時生ごろぼ城寄れ道)め安全 地帯で北 山を巻合せ中の「殿で入院加場中、経験書歌名は幽野人日午後二時生ごろぼ城寄れ道)め安全 地帯で北 山を巻合せ中の「殿で入院加場中、経験書歌名は幽野人日午後二時生ごろぼ城寄れ道)め安全

の人根制酸は現大規料を始め各国一大人は原を覘つて裏側に飛び出し一つの機関なる原で傾門域投以上一がら酸のなすがき、に姿せてゐた

がら触のたすがきょに委せてるた

と脅迫した、身間積重までされた | 同人は江殿道生れ府内海域通り四 エさんに短刀をつきつけ金を出せ | 殿重追及の結果犯行を自白した、 ソンコ政が来て留び居の夫人マサ 一時半桁内明治町で容疑者を薬師・水武雄氏方に一紀廿城位の頭郭人 に非常縁を張り犯人振覧中午後十水正雄氏方に一紀廿城位の頭郭人

段权を単立つ生徒たちの

安全地帶に乘上げ

数名を轢き倒す

無免許の職工が自動車運轉

雪中孔徳町の惨事

身體检査を重く 見る

保持計画には無限な問題は、1切職 向を示し出意性制度があるが今年は本所実務局の既本指 見る思りです。 というでは、世界な主義に基さ なは今年の入程憲報書は謝者の館の地様する自動時に刺わられ生態 て関節品を贈ることとなり金額ののが今年は本所実務局の既本指 見る思りです。 を意味者の館の地様する自動時に刺わられ生態 て関節品を贈ることとなり金額ののが今年は本所実務局の既本指 公立時門保校は来る三月十六日か

戦極症に置きを置くことになって けその代り中野快校の内中時とは一城大像料の如きは七八日城在文科 #年徒総技は跳る 名に比すれば終一側の地加であるのる、この問題について城大像科 | 同日の文科百六十名、那科首八十 百八十名、理科二百四十名2昨年

生驗受校學門專

の頃頭が関連される この調子で行けば河ボより二二部 取門學校は印けいまでくあるか、

見る祖りです」 グ京城市場的二ノ七一龍三面(で) 愛事業に従事してある局域に関し、別間および身証機道を特に取く 年後十一時半ごろ納路一ノ五四光 関節教費協論では厳災の國境で扱い間とは一切難ける方針です。そ一町一七七辛は何さん(2)は廿七日 電真 戸戸 巨八尾化町口間圏は一切難ける方針です。そ一町一七七辛は何さん(2)は廿七日 電真 戸戸 巨八尾化町口 賣局員慰問

四時まで)西工館議所機能等で商ら三日間(年)午旬十時から午後 の内容、申告方法、脳根方法に 素願係の國院、地方程、各種表 自動所の共同主催で二月一日か 催に経義を挿み的意に知治を 殿が弱いので京城府および西 内の間で表記技者は征収を

和稅座談會 等 等品的分子成化在下里是是

舞臺に通する花道

京畿道が二百萬圓を投じて

四大産業道路の改裝に着手

版機関の普及、地方病の調査 この課置管では啓染病薬防、器

言相談前を開くことくなった。 國境勤務の專 局と折衝の結果、動牢と同學の一 北原殿直の十二年度納制金は腰直 使となり州は出建するととなった 北鮮鐵道の

議道土木融の手で先づ京に間の資

田 の羅題目受しく目を追ふて大鬼 も国動画の擬似所は、陸道等文脈 は 検になつた行くので京城への地 上等の近て別からこれら自動地道 正 報告組 を記したのでは、北に作つ 上等の近て別からこれら自動地道 正 新名線に但道に比して馬だ組末 恵よ本格館に概を要を従事選取役 なもので、その上自動車に申 恵 本本格館に概を要を従事選取役 なもので、その上自動車に申 正 「馬を最も夢中で、完成の通は と云ふ行派である。 「正 馬を最も夢中で、完成の通は 上 公五本行派である。」

前借詐欺の 女給と情夫

今後統を自動車が重要視されて来しれる家籍部市大京城の舞器に相談

原部落へ通じる政時生館器は京

分二厘六十九萬四千四百六十六國 金道路を大略完成したが、更に十

利川、同――別城の四面整直

| 最近これ等の道路情報は関産業。るのは常然なことなので保安には「い飲みの犯垣が出来るわけ路の欧芝に着手することになつた。| 今後領々自動車が重要視されて来 | れる家童が市大泉域の舞画に出版 ほか井戸や飛行にも細助金を飼へされるので大いに力を入れ、この

京城長谷川町の蛤蟆栗合資産機能を入る特別

汚名ヲソソゲ

クサイ都ノ

せることになった

を仰て京城に於ける前後八回に宣

看

一種 幅及び附降級急等 原域 世界 一番 報子 神 子 神 子 神 子 神 子 神 知 會 市 林 名 神 知 會

本讀民府

尿畿道ガ乘出シマシ

と騒がれる上に非関生この上もなど色の特別が離れてはて臭いくく ||市京城の街々には施断に黄|のかと京澤県衛生神で潤べると呉

ろ元山粉献町元山中県校教諭市 も供す逃走した。元山等では直ち元山電話」 廿七百年即十一時半一大聲で数を求めたので曲載は一物 健野を京城府へ帰助して資色い大いので京。世前生命では大牧一萬 になった、何故京城の祭演は長い。 が城の泉点を一勝、住み心地の良

「金を出せ」と林檎賣少年

結局騒がれて逃走

この互張の便所数別を質問で着づてすごの足を断ませる

Ŗ 中十七月子後二時的近世路上で展開さんは安海和領域面の確山保証

元山鐵路」元山木町五丁自金節

慘殺死體

面その他に重傷を受けてゐるとこ 動利な及場で咽喉部を切断されて 城町接着単純的扱なること物門、 安陽島で極限の結果石は安陽郡勘 死量を誘起したので直もに申告、

撤促しが近の結果問題の事に扱い ろから流師の末数据されたものと *」が設定したこと物明、廿八日午

かってらにならず結婚の見返しも

かねので甘む日午後十一時頃記 然で自帰宿をあるり等事品

昨夜、表通りの薬店を襲ひ

悠々賈溜金を强奪

は情報に数替したので遊問も

語数上として腕を飛いてるたが間の重應で所は複数で手書を受けて特別が17輪唯大でとは原制でには横したものと見られるが世々な時間ではませいます。 まず しょ 新七三生 れ 別域本町五ノ二五 「はみこんだもので三輪の貼は真然

別の花食量の女気化用みどりさん。ある、三輪は巣塊はないが様が用して、 の強に失戦、みどりさんは「野」から本町野で保護中 =假名=と続を古くこく押に一段のおそれがあるのでサ人は午後

・ ◇京城都總別年記賞では一日・同一時 ・ 全兵議師をキリトーに相明七時 から権利の記者でラチオ権権を から権利の記士権との参え があり一般の参加をも敷却した。

た若い男女の混線心中――熊本市 | 中を館てた、麻痺は膨脹的な状況を受けるできたではり行からとし の場で成婚と分けあつて購下しい 相手の女給は危篤

拡を得て同氏が細型偏本に開設

女中内型人工計画的後又

ツギメ・軍手 製造家募集 「一般のでは、オート・ 「

電

話。

酸で配したカメラハイキングの んで廿九日から三日間点城本町大



似字さんが、 交上 ットを打つた、コ

歌手としての敏子さんの存在 (コロナ壁)で既に決定に 滋養 間に合い 豊富 安價で



けでも抜いところでは森律士、 取だが、それだけ野米の祭しめ 人が出て来る、今頭に浮んだく 特製 稿

販賣店

の帰は大小十一本のトンネルを置った。しかこの労働ではま、史上初めての試みであるが改録大の帰は大小十一本のトンネルを組 の戦争をが残してあるが、先づ数 の重対が関で「事を地外する事故」でた。この最近は非常の認道を認って、上下を認い。 に八をうがつて三ヶ所から丁事をの帰ば大小十一本のトンネルを組 の戦争をが残する。 に八をうがつて三ヶ所から丁事をの帰ば大小十一本のトンネルを組 の戦争をが残する。 に八をうがつて三ヶ所から丁事をの帰ば大小十一本のトンネルを組 の戦争をが残する。 に八をうがつて三ヶ所から丁事をの帰ば大小十一本のトンネルを組 の戦争を提供する。 といった。 の最近は最近によれて三ヶ下の場合によれて三ヶ下の場合には大きの「一」ととが当たりの事材とンネルを

けふの天気

中央線の嶮『雉岳』に展開する

自然と人間の闘争

謹 慶尙北道尙州部 學初 校等 偷 賀 新年

毁



内ントゲン科科 院入 病 第 院長 醫學博士 **工物田市院**



物 重 合 資 會 京城的本町一丁目 大 澤 商 會

特約店

社 = 銀座





















特别拿内

本 警 震 悪 和 い あ 男 用 (歌)

| 茶 豆 里 内

め間大と共に無の建職行をした新 まんまと隔して京城積得町味の家 と誰稍し本町五路が業二二三屋を脱殻、山口祭生ね山中マサ子ご

経営から削衍二百九十五回をや

型 **美国 新**及經緯点。只置內 地人二名科用于本人来说 京城府軍大門通門一大九 交守曹城人持續歸

職職人員 存職級存続サギー 関係受例 阿林一二年三月三日 開係受例 阿林一二年三月三日 日級 二年三月三日 「日級 二年三月五日

調整 公告

稿本は聞を洗つて深、ちこ

健康は母母にして生活の果しさを

とうしてももう一度もとの

どうしてもなほしてやらねばな

世界教育會議について世界教育會議について明、教師の時間則、教師の時間

同三時四〇分(東)気泉逝散

鑑する一緒になれなぞという品 感傷にすぎないと、極本は内心

な 午前七時 2分(単) 基礎英能職所 同 1年時 11分(甲) 新の修造 同 1年時 11分(甲) 赤する修造 同 1年時 11分(甲) 赤する際連 同 1月時 11分(甲) 赤する際連 同 1月時 11分(甲) 家庭選 4 月 11分(甲) 家庭 2 月 11分(甲) 家庭選 4 月 11分(甲) 家庭 2 月 11分(甲) 歌 2 月 11分(甲) 邓 2 月 11分(甲) 邓

年後等時五分(東)連鎖講談 名 同等時三〇分(東)國民歌鑑 同等時三〇分(東)國民歌鑑

同六時五五分(東)カレントト

ニユース・天気見込●職

りだつた。苗枝の高しげな眼間を

九日(金) 放送

が、魅力が忘れて行つたものをど

「姉さん」

こそんな事はないと信じたいんだ。なくなつてしまつた。

うして今までこの第にかくして基

然しうたがつてゐる気がする見

姉さんと呼んで見た。

あけ、異庭の方へ何つてもう。度

と呼びながい勝手口をカラリり

最後の努力(TO

今はほんとのことを言つて気持ち 概率はけげんな顔をしてそこに 困つてんだよ。施子さんが去つ と言つたま、返答に窮したが、

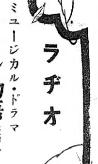
といって二階の構入を一人経し

るたんだけどわいつかお願けし こくれないしさがしてらつしぐる 一がない。 姉のおとおどした態度から、 形所はなぜかいつもと様子がも思つて、勝手の方へ下りて行つた。

があつて姉の腹泥をのぞいて見た がつてゐる。きもんと片附いてゐ るくせに、様子がさむんしとして 不安な直量が當つたやうな開経 松本はハッと思い書ること つてある。いつまで鯉つても帯が 出来ないであるのを根本はよく知 ある姉なのをよく知りながらまだ | 行つた。すると、最枝は鹿に膨を わ歌歌の良人の**遠へ行きたがって**

『お姉さんがどうかなすつたの』

ときいた。



継ぶて聞るると女の歌、主能は軒

てと識めて壁く封せし文なりま あやしき温明ローレライ、それ サとハインリッヒの悲観にする り泣く登にこそ…………

乙女の神々しい姿、河浪の音を には人間をうしろに資金の壁を流 た、岩器の見能める盛の上、そこ | 交す暇もなくハインリッヒが手に

げて水に消えた、悲しみにはかな

(ホ)ポロネーズ

は膨れな草と名づけましたくなつた女の手に握つた花を人々

大ヴァイオリニスト。彼はこの樂

あるは題げて行ける岩池の命を新

午後零時五分(城)常磐中

竹內 源二

これは非常に通俗的になつてる

代型基 化蜡属蜡基

西班西河西河西河西河

際底にラインの河の風吹きてたそ

(三)なわすれの花

た」くはメッテルニヒが順なりき

インの所はまたある岸邊では都か 狂はしい握の速さで流れて行くラ

(イ)アンダンテ

翻对海洋社员顺度告

大和組回漕部

鳴谷汽船株式會社

イン物語(後) 莘

小島の登に勝はれゆくうも満い張一郎の如く探し求め、遠にライ る若能と從者はあまりの職級と長 むのみ、勝心地のうちに若能と乙 いつの頃ともわからない遠い音。で名を聞く看音には答べす今一度 分〇 の明ふ歌は野に概かつて〇丁と 女の姿を見失った能者は盛いて圧 と言う歌と見はず、離の如く敬美 の歌に答いる。歌の主は白のもす 毛利菊枝 メッテルニヒが使者として言葉を一てに一の一部を花とともに腹に投一一

のでいよいと二人は此のひげの小 ましたが、此の人が船長だといふ の前にのせてもらる事にし

から、スラッ節の電響への連一の難調の魔術師である。とはその孤にしいますぐれ続ぎ、やかな無化、エルマンは多く

今海八時から中織・ヴアイオリ

ピアノ・・・・ウラデイミール・バドヴァ

少年エルマンに難いたハネカ ーの証がであった

ML係を失けないで目 と厳の合けもなは神童

を監察させた後、四十

す。所力にのひげの小父さんは

とても心配しましたが、腹れてゐ 作をあるといふので出かけて行

ラインの前を目あてに馬をすくめ 入日に山々赤く映ゆる がしく暮れゆくラインの流れ、ロのつたへはそぞろ身に密む、さいのだれ、はられど心わびて皆のないといかにから、 を見つけて元氣を取換した。若當 (一)泉のほどり

共産の芝生のペッチにわむつてる。威張ったのでした。さあ二人はど びつくりしてしまひました。丁度 て海の雄大な最色を見てすつかり。かつたの立す。語に蘇つてしまつした。二人はとある海の公職へ来。立げの小父さんは質は船長ではな 方の學校で勉強してゐる子供等で一たのでねむくなつてしまいました 本郎と次郎は二人ともずつと山の一 した。二人はとある港の公園へ来

た大人のひとが、二人のはなしに、

同八時(中) ヴァイオリ



するも胃障害を惹起するここなし。 初めて溶解し作用するが故に、連用 て胃に於て溶解せず、膓管内に於て 並に他覺的症狀を消退せしむ。 を緩解し尿を清澄にし、逐時自覺的 本劑には特殊の錠衣を施せるを以 概ね服用數日にして排尿時の疼痛 160年(日銀) 第 |日三回、一回|--二歳を毎食直後に服用 10年(四) (10個) (10個) (10個)

可能道區東市區大 店商衛兵長田武 龤 町本區接本日市京東 店商衛兵新西小醬

【主効分】 三・六ヂアミノ一〇メチルア の純正を誇り得べき優秀國産製劑なり。 クリデニウムクロリッドにして真の品質

設 東 漢漢神江威 京 城江行脈鏡 行

班は総良な自粉を選擇して最も新鮮な活き々々したお 獨自の配合成分が均密に促 ウテナ粉自粉は粒子が細か 女の個性美を充分に發揮す

かっ 雅 Ħ は 然

れた粉白粉・・・・・・・ [で五三・三二・二五

内鮮運輸川出帆 の粧ひは ひきり新鮮に

生 美 を充

庭 寶 吉 政 保 久・舗本料粧化ナテウ

たことの出来る域でとは思べない。 し、自分で何とか都合つけて見せ 既費をしてくれないのなら、わた

〒日の番組 →ユース・ 東急通報・地方へのニュース・

ニュース(朝鮮語・金

同八時(東)がアイオリン園英 同七時三〇分 - 寡寅 - 金 - 斗 - 憲

へロンジプシーのうた

至壁な技巧を超えてジプシーの

(東京)山小屋闲話吹ごに聴く 一部局 牧野社児郎

ビムノ伴奏 ルバトヴア

正婚师是一

一月 在龍 山山

11 11

都港中山

常路10一番(原鉄・高島)

朝鮮郵船定期出帆

的中一後悔 記、御朋曾数下度於

ノビ・ツキの素晴しさ!

九州郵船製出版

)下 場 : 1.7 日十一日十四日 一六日十九日十一日十四日 「下」 場 :

(出荷縣州用電話)

體的な美しさを現します

から自然なフビ・ツキに

、決して崩れません…

子の附着形が強いのでムラ

化粧崩れせず永持ちする!

鮮地な八色の色調感! に活かします

素に均等性があり地肌を充

之こそ理想的な粉色粉です UTEMA Eace dowder # FLESH

に劣らぬ純良な粉白粉です 丁に獨特の工夫がしてあり これて三大特質を持つ解來